

第4回 中心市街地拠点施設整備 基本計画策定委員会 参考資料①

【市民等からの意見の聴取について】

《 目 次 》

1. シンポジウム、懇談会（市内4か所、各種団体）開催概要	1
2. 市民等からの意見について	1
(1) 新図書館（中心市街地複合拠点施設）シンポジウム【意見の概要】	2
(2) あさけプラザ懇談会	4
(3) 四日市市文化会館懇談会	5
(4) 中消防署中央分署懇談会	7
(5) 図書館協議会	9
(6) 図書館ボランティア団体との懇談会	10
(7) 新図書館（中心市街地複合拠点施設）シンポジウム【意見の詳細】	12

平成29年8月28日

四日市市 政策推進部 政策推進課

■市民等からの意見の聴取について

中心市街地拠点施設整備基本計画の策定にあたり、本市では、新図書館を含む中心市街地拠点施設にかかる市民等からの様々な意見を聴き取り、反映できるものは反映し、基本計画をより良いものとするため、意見を取り入れる様々な機会を設け、懇談を行っている。

なお本資料では、6月～7月中に開催したシンポジウム及び懇談会等での意見を取りまとめた。

1. シンポジウム、懇談会（市内4か所、各種団体）等開催概要

(1) 新図書館（中心市街地複合拠点施設）シンポジウム（平成29年6月18日、四日市市総合会館）

参加人数：92名

内容：策定委員会委員による基調講演及び政策推進部長による施設整備の基本的な考え方の説明を行ったうえで、4つのグループに分かれて新図書館（中心市街地複合拠点施設）についての討議を実施し、最終的に各グループで出た意見を総括した。

(2) あさけプラザ懇談会（平成29年6月25日、美術室）

参加人数：9名

内容：施設整備の基本的な考え方について説明を行ったうえで、参加者との意見交換を行った。

(3) 四日市市文化会館懇談会（平成29年7月16日、第3ホール）

参加人数：20名

内容：施設整備の基本的な考え方について説明を行ったうえで、参加者との意見交換を行った。

(4) 中消防署中央分署懇談会（平成29年7月23日、大会議室）

参加人数：4名

内容：施設整備の基本的な考え方について説明を行ったうえで、参加者との意見交換を行った。

(5) 平成29年度第1回図書館協議会（平成29年6月12日、市立図書館）

参加者：外部委員9名、図書館職員4名

内容：本年度当初の図書館協議会にて新図書館に関する検討を議題に上げ、策定委員会に提出するよう、意見の集約を行った。

(6) 図書館ボランティア団体との懇談会（平成29年7月25日、市立図書館）

参加人数：18名

内容：施設整備の基本的な考え方について説明を行ったうえで、参加者との意見交換を行った。

2. 市民等からの意見について

(1) 新図書館（中心市街地複合拠点施設）シンポジウム【意見の概要】

①グループ討議における意見の概要

1. 新図書館（中心市街地複合拠点施設）整備計画に対する『期待』

【立地場所について】 総意見数 【 25 件 】

○ 中心市街地に人が集まり、まちの活性化になる …… 10 件

○ 近鉄四日市・JR四日市駅、市役所に人が来る …… 5 件

○ 交通の便が良くなる …… 5 件

○ 近鉄四日市駅東側へ人が流れ、往来が活発になる …… 3 件

○ その他 …… 1 件

【図書館について】 総意見数 【 38 件 】

○ 新しい図書館、図書館機能の充実 …… 17 件

○ 蔵書が増える、書籍の幅の充実 …… 10 件

○ 開架スペース、本棚が広がる …… 3 件

○ その他 …… 8 件

【複合拠点施設について】 総意見数 【 125 件 】

○ 色々な設備がほしい（グループ利用の部屋、会議室、ネット対応、おしゃれな内装など） …… 15 件

○ 子育て者、子ども、学生、高齢者といった色々な人が集まる機能や仕掛けがある施設 …… 14 件

○ 新たな交流拠点、市民交流の活性につながる …… 13 件

○ 四日市のシンボルとなる魅力的で人を呼べる建物となってほしい …… 12 件

- 開館時間を長くしてほしい . . . **11 件**
- カフェがあって、友達とお喋りできる空間がある . . . **8 件**
- 学習の場・拠点となる . . . **6 件**
- 憩いの場になること . . . **5 件**
- 色々な機能が入った施設となることに期待 . . . **5 件**
- 防災機能も兼ね備えた施設 . . . **4 件**
- 交通手段としての巡回バスに期待 . . . **2 件**
- その他 . . . **30 件**

2. 新図書館（中心市街地複合拠点施設）整備計画に対する『不安』

【立地場所について】 総意見数 【 121 件 】

- 中心市街地活性化と図書館は別に考えるべき。図書館本来のあり方がダメになる。 . . . **24 件**
- 東側広場では、高層（ビル）型の建物になり使いにくい。特に、図書館は不便になる。 . . . **18 件**
- 東側広場は、津波や水害などを考えると安全面で不安・心配な場所である。 . . . **17 件**
- 全ての市民の利用を考えて、生活圈や人口分布に配慮した場所に図書館は建てるべきだ。 . . . **13 件**
- 現図書館を増築すれば、現在図書館が抱える課題は解決でき、市街地活性化にも繋がる。 . . . **11 件**
- 東側広場では図書館として問題が多い。図書館の課題が解決すると思えない。（駅からの距離、駐車場） . . . **10 件**
- なぜ東側広場なのか。ここが良いという意見が多かったのか。他に探す努力をすべきだ。 . . . **6 件**
- 東側広場へ施設を整備することで、市街地活性化に繋がるのか。 . . . **5 件**
- その他 . . . **18 件**

【図書館について】 総意見数 【 47 件 】

- 図書館と色々な機能との競合は難しい。図書館本来の役割や機能が果たせるのか。 . . . **12 件**
- 自動車文庫は存続するのか . . . **6 件**
- 現在の図書館はどうなるのか . . . **5 件**
- 図書館の色々な機能は充実するのか（ネット対応、ビデオ・オーディオ、電子書籍、音訳・点訳など） . . . **4 件**
- 自動書庫の導入に対する不安 . . . **4 件**
- その他 . . . **16 件**

【複合拠点施設について】 総意見数 【 80 件 】

- 図書館をはじめとする施設の運営方法、民営化に対する不安 . . . **16 件**
- 図書館以外の機能はどのようになるのか。この施設でなくても他の場所でもできるものもあるのでは。 . . . **11 件**
- 施設の整備計画は市民にあまり知られていない。もっと市民の声を聴いてほしい . . . **7 件**
- 子ども、子育て者、高齢者など色々な方に配慮した施設にできるのか . . . **6 件**
- 今ある他の施設（橋北交流開館、三浜文化会館、本町プラザ、なやプラザ等）との競合にならないか。 . . . **4 件**
- その他 . . . **37 件**

【交通アクセス、駐車場に関して】 総意見数 【 51 件 】

- 施設整備とともに、新たに駐車場を整備（現市営駐車場の改修も含む）するべきでは . . . **16 件**
- 駐車場の数が足りるのか . . . **10 件**
- くすの木パーキングや民間駐車場では、施設から遠く、雨の日は濡れたり、使い勝手が良くない。 . . . **10 件**
- その他 . . . **15 件**

②アンケートの概要

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について、理解できなかった点（自由記載）】

理解できた . . . 39件

理解できなかった . . . 29件

- 図書館と中心市街地複合拠点施設をあわせて考えていること自体が理解できなかった . . . 5件
- 図書館をつくりたいのか、中心市街地活性化拠点施設がつくりたいのか分からなかった . . . 3件
- 具体的なことがはっきりしない . . . 7件
- その他 . . . 19件

【感想・意見（自由記載）】

- 時間が足りなかった . . . 6件
- 周知・広報が不足 . . . 5件
- 当日の意見交換の手法に工夫が必要 . . . 7件
- 説明や資料の内容が不足だった . . . 3件
- 意見交換前の準備手法に工夫が必要 . . . 2件
- 今後の意見の活かし方が疑問 . . . 1件
- 庁舎東側への建設についてはよく考えるべき . . . 5件
- 庁舎東側に決めた理由を知りたい . . . 2件
- 庁舎東側への建設は反対 . . . 2件
- 庁舎東側が良い . . . 1件
- 図書館と複合拠点施設とは別々に考えてほしい . . . 5件
- 図書館を含む複合拠点施設として考えるのは難しいと思う . . . 3件
- 図書館を含む複合拠点施設が市街地の活性化につながるとは思えない . . . 1件
- その他 . . . 17件

(2) あさけプラザ懇談会

①意見交換より

【施設計画について】 総意見数 【 5 件 】

- 多額の費用がかかる事業であり、行政として予算や内容を含めしっかりとした内容を示してほしい
- この段階で行っている市民との懇談を継続し、今後も市民とのワークショップなどの取り組みに繋げてほしい
- 当初からソフト面を上手く連携して活かせるよう計画づくりを進めてほしい。
- 全体予算の何パーセントかを市民参画のための予算として確保し、しっかり取り組むなど、効果的にお金を使ってほしい。
- 民間の力を生かせるものは生かしてほしい。

【立地場所について】 総意見数 【 1 件 】

- 東側広場と他3カ所を比較した検討内容を含め、場所の選定について、市民に納得してもらえるよう、過程を含めて再認識してもらわなければならない

【新図書館について】 総意見数 【 2 件 】

- 新たな図書館は、桑名市・川越町などの近隣市町のものよりインパクトがある施設をつくるべきだ
- 市内全域に図書をとどける自動車文庫については、本施設の敷地で存続できるようあらゆる手段を検討してほしい

【複合施設について】 総意見数 【 3 件 】

- 施設全体のコンセプトをまとめ、ハンドリングできる人が重要である
- SNSなどのツールをもっと上手く生かし、施設の情報発信も重要である
- 災害・緊急時のヘリポートについて、災害時の拠点として必要性も含め、検討事項の一つとして加えてもらいたい

【交通アクセス、駐車場について】 総意見数 【 2 件 】

- 車に乗れなくなる人が増えてくる中で、駐車場のことばかり考えるのではなく、そうした方の交通の利便性を考えるべきである
- 市営駐車場やくすの木パーキングは特に親子連れに使いにくく、他の民間駐車場も施設から離れすぎているので、別の対応策を考えてほしい

②アンケートより

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について】

理解できた ……3件

- ・中心市街地については概ね理解できた。図書館の中身をもう少し詳しく聞きたかった。

理解できなかった ……1件

- ・資料の内容がざっくりとしていた。

【意見の概要（自由記載より）】

- ・図書館には、新図書館を含む中心市街地拠点施設に関する意見を書き込むノートがあるので、一度目を通してほしい。
- ・今後の懇談会では、現図書館の課題、また新図書館ではどう改善されるのかを説明してもらえると良いと思う。職員が働きやすい図書館づくりを。利用しやすい図書館はスタッフにかかっています。
- ・市として、図書館をプロモーションにどうやって活かすのかを具体化してほしい。
- ・本施設の整備が、市役所近隣地域に活性化の効果をもたらすのか、市内全域から見ると全体としてマイナスにならないか検証が欲しい。
- ・子どもや学生が通うには、近鉄四日市駅等から無料で利用できるマイクロバスなどの手段が必要ではないか。
- ・この立地場所でのマイナス面もしっかりと捉え、計画・設計していくことが重要である。設計は金額のみの比較ではなく、より図書館・複合施設を設計できる素質があるかどうかを見るべきである。
- ・どのような図書館にしたいかは、市民参加での計画・設計プロセスを経てほしい。特に、子供・生徒などシンポジウムでは意見が弱くなってしまいう人への配慮も考えるべき。
- ・駐車場は対応策に伴うランニングコストの提示が必要。費用が多大なものになるように感じられる。
- ・中途半端なものではなく、東海地方でトップの図書館を目指すべき。

(3) 四日市市文化会館懇談会

①意見交換より

【駐車場について】 総意見数 【 4 件 】

- 市営駐車場とくすの木パーキング以外の無料駐車場を作ることはできないのか。
- 駐車場の無料券を出すということだが、調べものだと5～6時間はかかる。
- 駐車場台数が数字上は多く見えるが、利用者は図書館の近くにとめたがると考えられ、それでいくと市営駐車場では、エレベータが1台しかなく、階段もきついで、改築が必要になるのではないのか。
- 駐車場については、巡回シャトルバスを検討した方が、コストもかからずいいのではないのか。

【図書館について】 総意見数 【 6 件 】

- 商店街の中(すわ交流館)にこども図書館を作って、公園・商店街と合わせて過ごせるようにしてほしい。大人だけが来るところではなく、どれだけ騒いでも本を読めるような子供のための空間を、別につくってほしい。そのため東側広場には、無料の駐車場を作ってほしい。人はあまり市役所や三滝通りまでは行かないし、2～3時間の無料券が出ても、民間駐車場にはとめないと思う。
- ある他市の図書館では、市民からの反発でもめていると聞いたが、ツタヤ図書館のような民の入り込み方は避けてほしい。商売の要素が入らないようにしてほしい。
- 施設の8階層中3階以上が図書館となっているが、中央図書館としては問題が多い。移動図書館車の車庫をどうするか、確保できなければ廃止も考えられる大きな問題にもかかわらず、未だに措置を明言しないのはなぜか。中央図書館の整備だけではいけない。移動図書館や配本所も含めて、総合的な図書館の在り方を検討すべきではないか。その辺りが、現計画では触れられていない。図書館協議会では、移動図書館の発着所の確保、蔵書の整備等についての提言が出ている。これらも重く受け止めて考えてほしい。
- 東側広場での建設は反対。駐車場・自動車文庫に関する明言もされていないため、強行も疑わしくなる。全体計画を論議する部門は、元々教育委員会にあったはずで、図書館の問題については、もっと早くその場を出すべきだった。
- 増改築案にしても、何を増改築するか、が問題。ネットで本を予約し、近場へ取り寄せられるようなサービスも若者には必要。「もしこうだったら…」という希望を積み上げられるとよい。
- 開架が少ないので広げてほしい。

【中心市街地活性化について】 総意見数 【 2 件 】

- 中心市街地拠点と新図書館とをあわせて考えるのに無理がある。図書館部会の中でも、図書館自体についての議論が煮詰まっていない。現状の図書館施設を修繕したらどうか、という意見が強かったはずだが、その意見がどれほど反映されているのかが疑問。事務局は「意見を伺う」と言っているが、今日の懇談会でも事務局側の人数は少なく、体制としても不安が残る。
- 中心市街地活性化との同時検討にしても、そう簡単に両方ともできるとは思えない。近鉄～JR間のみでなく、地方・地区も含めて考えてほしい。

【意見聴取の運営・進行について】 総意見数 【 8 件 】

- シンポジウムでは、相当数の人が不満を出していたと思う。意見交換できるような場があれば、どんどん参加してもらえるように、広い範囲へ門戸を開いて聴取を行って欲しい。人数制限はできるだけしないほしい。
- シンポジウムでは反対意見が多かったそうだが、前向きな意見が出ればいいと思う。参加されない方でも意見はあるはずなので、計画についてもっと広く知ってほしい。駅に投書箱を設ける、学校でアンケートを取る等、計画に触れる機会を増やしてほしい。
- 反対意見について、一部でも懇談会の場で披露してほしかった。それに対する市からの反応も含めて、機会があればどこでも出してほしい。
- 懇談会の冒頭で、一度見たシンポジウムの映像を流すのは、状況の共有としては不足ではないか。
- 説明が、最初から東側広場で建設するような内容になっていた。その前に説明を行い、意見を聴取すべきではなかったか。現状駅西の方が発展しているのに、どうしてそちらにしないのか。諏訪新道の活性化のようなねらいが裏にあるのではないのか。市の考えをもっと表に出してほしい。
- シンポジウムの総括では、交流拠点への期待がみられなかったはずだが、その結果を行政でどう受け止めるのか、よく考えてほしい。
- 市の資料には、いくつかの建設候補地を比較検討して、それぞれの長短を示すところが足りない。
- 意見の整理後に、さらに意見の交換会を行ってもらえるとありがたい。

【立地場所について】 総意見数 【 2 件 】

- 駅西であれば、タクシープールの土地を利用してはどうか。
- 立地場所について、現在のところの増改築はできないか。延床面積が小さくなるのに便利になるとは思えないし、駐車場についても、市から出費しないといけなくなる。

【その他】 総意見数 【 2 件 】

- シンポジウムに関する新聞記事では、賛成意見の方が取り上げられているように見えた。
- 第3回策定委員会で、市長が「国の援助を受けて」と言ったが、亀山でも同じような図書館建設の議論があり、その場で市が「年度内には建設を行わないと、国の援助に響く」というようなことを言ったらしい。こういう懇談会をやっている裏で、急いで計画を進めようとしてはいないか。

②アンケートより

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について】

理解できた ……10件

- ・港（四日市港）の整備を考えた方が良い（くつろぐことのできる場所）。今は、産業用の港なので、利用できない。

理解できなかった ……5件

- ・考え方、思いは理解できるが、中心市街地の活性化になるとは、思えず、理解できない。
- ・8F建の3Fしか図書館がないとは、思いませんでした。
- ・将来的なビジョンと駐車場整備について、中心市街地としての役割がいまいち明確でない。
- ・6月実施のシンポジウムでの。市の考えが聴けると思い、期待して参加した。⇒今後の行政発信の内容を注視していきたく。
- ・この考え方が本当によいか理解できない。中心市街地の考え方と図書館と併せてはいいかなと思える。図書館は、教育委員会の意見を取り入れ、図書館の必要性をしっかりと考える必要がある。そうすると、案であっても、この場所にたてるのは、難しいと思う。

【意見の概要（自由記載より）】

- ・庁舎東側は貴重なスペースです。市営駐車場の改修も必要で、仮設駐車場などのスペースとして、又、庁舎も今後再度の改修も必要で、作業ヤードなどのスペースとして必要だと考えます。将来の建替についても。
- ・中央駐車場を先に予定地に建て替えてから、中央駐車場跡地に図書館を建ててはどうか。中心市街地活性化との連携が今一つ明確になっていない感じがした。商店街やくすの木パーキングの地上部の活用も考えられないか。
- ・熱心に考えていらっしゃる方がこのような懇談会に参加していると思われまますので、市民のメンバーを集めて委員会を作ってもよいかと思いました。自動車文庫は絶対残して下さい。
- ・図書館移転に反対。現在の図書館増築等を考えるべき。
- ・月曜日は休みとかサービスの向上をどこまで考えているのか不明。近鉄四日市駅そばの民間施設を賃貸して図書館を設けて欲しい。
- ・あらゆる機会・方法で、一人でも多くの声を聴いて、活かして欲しい。
- ・学習室（子供用、成人用）はゆったりした空間が欲しい。会議室がある程度欲しい。
- ・図書館の場所設定は、庁舎東側でいいと思います。駅よりの導入で、途中の店舗などいい形で変化していくといいなと感じます。又、JR四日市周辺の活性化、くすの木駐車場の活用化も。四日市市の活性化の切り札になればと思います。この場所で、ベストの図書館を。
- ・市役所東敷地以外の3ヶ所の敷地を含めた敷地の長所・短所比較表を明示して「東敷地」を選んだ理由を説明してほしい（H27で比較済みとのことだが…）
- ・わかりやすい説明会でとてもよかったと思います。図書館の蔵書ですが、キネマ旬報を入れて頂けるととてもうれしいです。今のネットワークは維持してください。（あさけプラザで本を借りたり返却できる）

- ・こういった機会をもうけていただいているのに、現在の意見を否定する意見ばかりで残念に思いました。こういった図書館がほしいというような意見を出せる場が他にあればそちらにも参加させていただきたいと思いました。

- ・こうした懇談会がおこなわれも、市民の人はみなさん知っておられない。また懇談会、シンポジウムの賛成・反対の意見を市民の方に知らせる努力が全く、なされていない。反映し、とありますが具体的にどのように反映するのか見えてきません。もっと原点に立ち返って考えてみて下さい。このやり方は、東京都の方々といいです。おっしゃるところにたつと、何かおこった時、四日市市民の命が危いです。責任は、四日市市役所となりますよ。

- ・シンポジウム、懇談会で意見を市民の様子を正確にまとめて議会に報告・市民に公開してほしいと思います。

- ・市長のお考えもお聞きしたいです。結果など、正直に伝えてください。

- ・参加者の年齢層が高く、より幅広い意見を得るには若い世代の参加が必要だと感じました。複合施設については反対派の意見が目立ちますが、将来にわたってこの施設が市のシンボルとなってほしいと思うので色々な選択肢を考慮し、立地・駐車場又は施設の構成（図書館の他にどのようなスペースを設けるか）を私たち市民にその過程もふまえて説明してほしいと思いました。既存の図書館の問題点を解決するだけでなく、その先の将来性（将来的に人が集まる場・情報発信など活性化が期待できる場）も満たしてくれるような施設になってほしいと感じました。

(4) 中消防署中央分署懇談会

①意見交換より

【中心市街地の活性化について】 総意見数 【 8 件 】

- 拠点施設整備に係る市の方針として、本市の重要課題ということで、中心市街地活性化が基本方針として掲げられているが、中心市街地が活性化すると、何がどうなると活性化になると考えているのか。
- 中心市街地を活性化させるために図書館を建てるということだが、中心市街地はどこからどこまで、計画ではどこを活性化させると考えているのか。近鉄四日市駅から西は全く視野に入っていないということか。
- 活性化が目的であるなら、数値で現される目標がなければならない。投資額や年間維持管理費用など細かい具体的などころが見えないと判断に悩む。そのあたりを詰めたうえで、パブリックコメントをしていただきたい。
- 交流人口の話だと、商工課としてはどういうふうに活性化をするのか。例えば（近鉄四日市駅）東側のエリアには、市役所横の総合会館が貸館をやっている。商工会議所、本町プラザ、納谷プラザ、橋北交流会館、三浜文化会館とたくさんある。それにもかかわらず、商工はさらに貸館のある部屋を設けて貸館業務をし、人を集めて交流するとしている。市民文化部や健康福祉部は、地区市民センター単位で、高齢者、障害者、まつりを通して世代間交流に取り組んでいるのに、それと逆行するのではないか。たくさん部屋があっほとんど借りられていないのにさらに作る。その考え方がなぜ中心市街地活性化なのか。
- 活性化とは何がどうなると活性化なのか。耳障りのいい言葉なので、中心市街地の活性化に反対する人はいないと思う。活性化というお題目だけでハコモノができあがってしまい、効果を検証しようがない。市には公式な定義はないのか。なぜ活性化させる必要があるのか、ただ人がウジャウジャ歩き回っているというのが目標、目的なのか。活性化というのは便利な言葉である。むしろハード整備で街の活性化というよりも、市民の暮らしが活性化するような政策推進をしていただきたい。これからはハコモノの時代ではない。
- 高齢化が進み人口減少が進む中で、これから先を考えると、交流の場としては地域コミュニティとして各地区市民センターで今も活発なサークル活動等がされている。すでに各地区内に活動の場があるのに、今回新規に作って市内全域から人の交流をと考えているのは、現実的なのか。わざわざ遠くまで行って交流しなくても、身近で隣近所の人と交流できる場があるのだから、期待するほどの効果は出ないのではないのか。
- （近鉄四日市駅）東側には飲食店、風俗店が多い。すでに店舗はほとんど埋まっており、これ以上どう活性化するのか。いっそ東側は飲食店ゾーンにしまえばいい。商店の人たちは売上を上げたいからハコモノを持ってきてと言っているのに、人が歩いていても売り上げが上がりなれば、どうするのか。本当に四日市市民30万のプラスになるのか。
- （近鉄四日市駅）東側を飲食店ゾーンにし、西側には文化会館もあるので文化ゾーンにし、湯の山線の存続問題も出てくるので、図書館をセットで考えていくのが私は自然だと思う。

【立地場所について】 総意見数 【 6 件 】

- 図書館が老朽化しているから建て替える必要があるというのは理解できるが、なぜあの場所なのか。今日は西部地区の懇談会だが、今も図書館へ行くには、午前中は中心部へ行く車は混雑して道路事情が悪いのに、さらに遠くなる。四日市市に住民登録している人の人口分布図の中心になるのはどこなのかというデータがあれば、皆さんが行きやすい図書館になるのではないのか。海拔の低いところに新図書館を建てることについては、個人的には賛成しかねる。
- （庁舎東側広場であれば、）用地取得費なしで建てられるというメリットはわかるが、もう少し市民の生活に近いところに図書館ができれば言うことはない。将来的にはその人口重心地点に市役所が移転すればいいと思う。

- （市内）西側の保々や水沢の高齢者に、わざわざ何らかの手段で中心部まで費用をかけて来なさいというのが、四日市の世代間交流のやり方として本当にふさわしいのか。今の場所より東側に人を呼ぶ方向で考えるのは難しいと思う。
- 近鉄湯の山線の在廃問題について、すでに近鉄は国交省に話をしている。近い将来、近鉄湯の山線の存続について四日市として議論をしていかなければならない時が来るだろうが、起爆剤としての図書館は大いにありうると思う。今より西の湯の山線沿線、私の調査では人口重心は大井手近辺だと思うので、それを考慮して図書館の場所を考えるべき。中心市街地の活性化という耳障りのいい言葉だけで図書館の場所を決めるべきでない。東側のエリアでは錆びれているところもあるが、自然に錆びれていったものでやむを得ないことであるし、人が集まっているところは飲食店や風俗店が多く、図書館帰りの子どもたちがそんな危ないところを通ることを親御さんはどう考えるのか。西側では大きな家具屋が潰れ、映画館の入っているスーパーも撤退する。そうしたら、近鉄四日市駅西側は危機的な状況になる。
- 四日市市の隅々まで図書館サービスを提供するためには、市民が住んでいる西の方向へ、図書館が近づいていくことが必要。市民の生活動線の多くは、最寄品の購入等は住んでいる地区や隣接する地区で収まることが多く、買回り品の購入等は国道1号線より西の範囲で収まることが多い。
- 図書館利用度の高い地区（中部地区）の未利用者対策よりも、図書館利用度の低い縁辺部地区（保々地区・水沢地区等）の対策を優先すべき。利用圏分析を行わずに、図書館利用度が低い縁辺部地区から図書館がさらに遠くなる市役所東広場に中央図書館を移転するのは、教育の機会均等の観点から間違った政策である。

【図書館について】 総意見数 【 5 件 】

- 桑名図書館も四日市市民が多く利用しているが、消防の連携と図書館の連携は違う。菰野町や桑名市からもたくさん来てもらえるような図書館を作ってもらいたい。
- 新図書館に関する公開された資料で、四日市市民の生活圏、市立図書館等の利用圏、四日市市民の人口分布等について説明されたものは、見たことがない。文部科学省告示と異なる独自の自治体政策もありえるが、そうであれば、文部科学省告示を採用しない根拠が示されるべき。
- 市役所東広場の狭い敷地に高層型図書館を建てると、階段・エレベーター・エスカレーターが多くの面積を占めて、書架や閲覧室が隅に押しやられる、狭苦しい図書館になる。
- 自動書庫は、図書館サービスを素人レベルに低下させ、故障時には利用者に大きな不便を長時間強いるため、導入すべきではない。
- 常時混雑している市営駐車場を利用させる＝駐車場から図書館までの所要時間が増える場所へ図書館を移転することは、一分一秒を縮めようとする市立図書館員の日々の努力を無にするもの。利用者ニーズからもかけ離れている。図書館に隣接して駐車場を整備し、利用者が図書を濡らしてしまうリスクを減らすことは、図書館利用者にとっても、市民共有の貴重な財産を預かる図書館にとっても重要である。

【基本計画策定委員会について】 総意見数 【 1 件 】

- 第3回の策定委員会を傍聴したが、委員の意見で気になるものがあった。委員長が図書館の蔵書を減らすという発言をした、委員が西部の市民は菰野町の図書館を利用したらいいと発言した、多世代交流のために蔵書を絞るべきと発言した委員がいた。この3点がすごく気になった。委員がこのような発言をしたことに対し、非常に重く受け止めている。西部の市民は菰野町の図書館を利用したらいいと平気で言うような委員が策定委員会に入っていることを非常に疑問に残念に思う。西部の市民に対して非常に失礼である。

②アンケートより

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について】

理解できた . . . 0件

理解できなかった . . . 3件

- ・理解というより納得しかねた。
- ・あまりわからなかった。
- ・これは図書館を建てるための事業なのか、街を活性化させるための事業なのか、よくわかりません。建つのが図書館ビルであるので図書館としてふさわしいかどうかを検討しなくてはなりません、その前に、なぜ、あの場所に図書館を建てることにしたのか、が理解できません。（それを明らかにして下さい。）

【意見の概要（自由記載より）】

- ・人口減少が加速する時代にあって、中心市街地の活性化というお題目で新たな箱物を作る必要はないと思う。誰の為に何の目的で必要なのか、その必要性は甚だ心もとない。街の活性化よりも市民が生き生きと暮せるよう市民の活性化政策を！！
- ・複合施設はやめて考え方として、今の図書館は古いので、図書館のみを新しいものにする。拠点とか複合とか活性化目的としない。新築のみする。
- ・有賀氏と、中井氏のDVDが音声も映像も不鮮明で、内容も一般的・抽象的で、よくわかりませんでした。市民の声を聞くのが最大の目的なのですから、これまで聴取した市民の反対意見賛成意見（シンポジウム、第1，2回目懇談会での）を知らせて、行政側の考え方を、それに対して述べていただく会にしてほしいと思います。

(5) 平成 29 年度第 1 回図書館協議会

●集約された意見について

1 新たに増える駐車場需要に対する駐車場の確保に関して

- (1) 「一時的であっても入庫待ちが長くないような駐車場の方策を講じる」ため、市営中央駐車場から公用車 142 台を他の駐車施設に移動させるなどして時間貸の駐車台数を増やすこと。これにあたっては、市営中央駐車場前広場など市有地の利活用、民間駐車場など民有地の利活用を検討すること。
- (2) 「車いすやベビーカーに対応する駐車場の確保」のため、中心市街地拠点施設の計画敷地の地下に中央通りに面した出入口の地下駐車場を身体障害者専用駐車場、おもいやり駐車場として整備し、併せて地下駐車場内に移動図書館車の発着所を確保すること。

⇒本冊資料 P 6、(4) ①にて検討。

2 都市規模に見合った中央館としての蔵書構築に関して

- (1) 県下の北勢地域における 31 万人都市の中央館であり、集客力を十分に発揮すべき滞在型図書館であることから、その蔵書数は人口規模や集客力、滞在型に見合う「現状水準の倍増」程度を目標とすること。
- (2) 希望する図書を館外書庫や近隣市町の図書館から取り寄せ、再び閲覧や貸出に来館しなければならないという二度手間をなくし、利便性が高く、役に立つ図書館として幅広く豊富な「蔵書のすべてを図書館内に収納」すること。

⇒本冊資料 P 1、1 (2) ①にて検討。

3 制度的に課題・問題点のある業務請負に関して

- (1) 衆議院と参議院では、次のとおり答弁と附帯決議が行われている(平成 20 年)。このことから、「指定管理者制度の導入による弊害について十分配慮して適切な管理運営体制の構築」を図ること。
 - ① 指定管理者制度は、長期的視野に立った運営が必要な図書館になじまず、難しいこと(答弁)
 - ② 図書館等の社会教育施設における人材確保及びその在り方について検討すること(附帯決議)
 - ③ 指定管理者制度の導入による弊害について十分配慮して適切な管理運営体制の構築を目指すこと(附帯決議)
- (2) 経済財政諮問会議では、次の理由により「民間委託や指定管理者制度導入のトップランナー方式の導入を見送る」と結論づけている(平成 28 年)。管理運営体制の検討にあたっては、これら理由を十分に踏まえること。
 - ① 定型業務とは異なり、教育や子育て支援といった政策的な役割があること
 - ② 司書業務の専門性、多様なニーズに応じた図書館の教育活動、持続的・継続的な図書館の運営などがあること

(3) 民間請負には、次のとおり制度的な課題・問題点があることから、市行政の直営を基本とすること。

- ① 指定管理者の要件である「目的を効果的に達成する最も適切なサービス提供者」として、図書館業務の実績やノウハウを有する民間事業者が少ないこと
- ② 事業計画の一貫性や継続性、司書の経験や研修の積み重ねが必要であるが、民間事業者では事業計画の策定、従業員の雇用が請負契約期間に限られること
- ③ 市有財産である図書の取得や廃棄が民間事業者にはできず、法定条例設置の図書館協議会が民間人館長の権限下になり、市と権限が輻輳し、業務請負として民間事業者において完結できないこと
- ④ あさけプラザ図書館や楠交流会館図書室に対する中央館であり、小中学校・保育幼稚園、読書ボランティアに対する中心拠点であることについて、民間事業者では適さないこと
- ⑤ 民間事業者では、子ども読書活動推進法、市子ども読書活動推進計画を所管できず、また同計画の中核的な主体として参画することが適さないこと
- ⑥ P F I 法や指定管理者制度で対象とする利用料金制ではなく、図書館法で利用料無料が規定されていることから、民間事業者の利益は司書の人件費や研修費がほとんどである委託費の範囲内に限られること

⇒本冊資料 P 10、P 11にて検討。

(6) 図書館ボランティア団体との懇談会

①意見交換より

【駐車場について】 総意見数 【 3 件 】

- 市営駐車場は現状狭くて嫌がる人がいる。図書館まで傘なしで通れるように、本庁舎と専用通路があるとよい。上の階でも手続きの合間に図書館へ行けるとよい。
- 駐車場について、現状では駐車までに時間がかかる。ピーク時でも入りやすい図書館であってほしい。
- 来館者の交通手段はマイカー、公共交通機関であり、半々ぐらいであろう。公共交通機関利用者は現在の位置よりもよい一方で、マイカー利用者は時間が長いかかろう。駐車場については、半分は市役所などに来庁している人がいる。よい場所の駐車場を市役所と図書館で取りあうというのはいかがなものか。来館者が優先的に使えないものだろうか。現行でも総合会館の行事が重なると困っている。

【図書館・施設について】 総意見数 【 5 件 】

- 桑名市図書館のように屋上テラスを考えてもらえるとよい。
- ボランティアグループには、車いすの会員がいるが、駐車場や導線に配慮が必要なほか、視覚障害者への図書サービスもあり、配慮が必要である。また、総合会館に録音室があるが、他団体との兼ね合いで十分に使えないので、図書館に録音室がほしい。
- 図書館の機能はしっかりしたものにし、他の機能はコンパクトにすべきと思う。また、公立図書館に司書がいて、選書も流行に流されないようお願いしたい。児童室にある子どもに話を聞かせるカマクラの中は換気もなくとても暑い。お話のスペースを造るなら、明るくて見通しのよいところがよい。
- 新図書館構想は、老朽化から脱して使いやすい図書館ができるものと思っている。他の図書館のよいところはどんどん取り入れてほしい。
- 今の図書館に市民はなじんでおり、この図書館のよいところを大事に計画へ盛ってほしい。ボランティアなど図書館に近い人は図書館をよく知っており、細かいところに使ってほしい。この機会にて、今までの図書館のことをどうと言わず、もう一度図書館について考えていければと思う。四日市まちなか図書館について市でしっかり考えて、市民のまちなか図書館にするため、いいアイデアについて、この際これらを考える機会である。

【立地場所について】 総意見数 【 2 件 】

- お話し会では、地震等が起こったときのため、避難経路を確認している。この予定地では危ないと何回も言っている。津波のほか、高層階ほど揺れが大きくなり、本も落ちよう。安全が守られているか。液状化現象も起きよう。浸水もあろう。道路を挟んでは5mもの高さで聞く。コンビナートから油が流れてきたら大変と思う。ここでなく、安心できる場所に造ればリスクを負わなくてよい。計画予定地であれば、閉じ込められる。
- 資料を見ていたら今の図書館の方が立地上よいのではないかと。整備の目的を読んでいると、何が求められているのか、気持ちが戻っていく。夢がなく、わくわくしない。ボランティアは自分のためでもあるが、小中高校生に向けて活動している彼らが期待したとおりに何かやっていくのか。誰が来てくれるのか。市民がこの立地を望んでいるのか。

【意見聴取について】 総意見数 【 3 件 】

- 借金を背負うことになる子どもの意見を聞いていない。行政の私利私欲で（施設を）造るのではない。市民の夢を聞いてほしい。職員が各小中高校へ出向き、意見を聞くべきである。彼らが行きたいと思うような施設を造る。施設の細かいことを、だれが魂を入れるのか。計画の場所で造るくらいであれば、各地区の身近なところに図書館がある方がよい。建物だけで中身が空っぽである。
- 地域で活躍しているメリーゴーランドの増田さんや坂倉さんの意見を取り入れてほしい。
- シンポジウムでは、100人の参加があったほか、4か所で懇談会を行う予定であるが人数が少ない。市民のニーズを聞くというが、一部だけではないか。図書館の夢をもっと聞いて、それで10月の次のステップに進むことになるのか。たくさんの人に聞いてもらわないと意見を聞いたことにならない。

②アンケートより

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について】

理解できた …… 13件

- ・図書館第一に考えて。

理解できなかった …… 3件

- ・市役所東側に建てることありきとでしか話が伝わってこなかった。
- ・なぜ、中心市街地複合拠点整備に図書館がくみこまれるか、理解できない。2つの問題をいっしょにしてはいけないと思う。問題がこの計画で解消できると考えるのが、あさはかである。まずこれで中心市街地が活性化されるとは、考えられない。市民のニーズをきいてといわれるが。市民のニーズを聞けば聞くほど、理想の図書館になるとは思えない。

【意見の概要（自由記載より）】

- ・カフェでおしゃべりするだけで訪れる人が多いと思いますが、魅力的なイベント紹介など引きつけ効果を十分に考慮したスペースであってほしいです。
- ・立体駐車場は一台のスペースを広くしないと今までのままだと母と子供、障害者等単独では使えないし、使い難い。「新しい広いスペースの駐車場なんだよ！」というだけで若い母親は利用する気持ちが起こる。立駐を新しくしてください。構想と相反するが、学生が利用する学習室は図書館内ではなく近くの別の建物の中でも良いと思う。
- ・シンポジウムを学校区で行うと良かったのでは？ 高齢者が利用しやすい様に考えて下さい。車に乗れない方の為にシャトルバスが運行されると良い。
- ・新図書館が今の図書館よりさらに市民のための図書館になることを願います。市民がいつでも行ける、本が好きになる身近な図書館を願います。
- ・地震の心配のない山の方に広々とした敷地に子供達も遊べるスペースもある図書館を希望。駐車場から遠くなるのは弱者にとって負担になり足が遠のくと思われ（これから高齢者もふえます）一階を駐車場にして雨にぬれずに入出できるのを希望します（特に乳幼児連れ）（障がい者）
- ・色々な方のご意見を拝聴し、自分の中での図書館への思いが軽いものだと再認識致しました。活動する仲間が集える場所、発表の場を与えてくださっているものとしての図書館ですので、有り難いものとしての考え

でしたので、改めて図書館とは何ぞやと考えてみたいと思います。

- 私は歩行者です。近鉄四日市駅から国道一号線まではアーケード（天井）がありますが一号線からJRの方へは屋根がありません。雨の日を思うとやっぱり図書館まではあるといいなと思います。
- 私自身年齢が高令になるためいつまでも車にたよることが出来ないのでバス等公共の乗物の便も考えていたゞきたいと思います。
子供達だけで来る場合もあると思います。
- 個人的には庁舎東側の場所がよいと思いますが、公共施設を回る、コミュニティバスが定期的にあるともっと利便性があがるかな。
- 参加者からも意見が出ていましたが若い方達、小・中・高生の思いや意見を聞いて頂く機会を是非持って下さい。
- 駐車場はやはり足りないと思います。根本的な解決を！
障害者の方が使いやすい・来やすい施設を作っていただきたい。
- 中心市街地複合～は、とってつけたようでは？
- 今の図書館、子供の部屋にトイレがありますが、安全の面から、とてもよいと思う。新しい図書館もぜひそうして欲しい。
自動車文庫は、必ず残してほしい（長時間出かけられない人には特に）
中心市街地を通過して駅（近鉄）に向かうのに、飲み屋街であり環境がよくない（中・高校生には）
- 現図書館を修復・増築できないのでしょうか
- 図書館内で移動ばかりしなくてはいけない図書館より、フラットな方が利用しやすい。それにこれには、最低各フロアに司書が2人はいることになる。財政面で大丈夫なのか？ また時間を増やすとなると司書さんがたくさんいることになる。一体この図書館8階建て、耐震免震、自動図書館（書庫）への費用などいくらかかるのか、そしてその財源を知りたい。

(7) 新図書館（中心市街地複合拠点施設）シンポジウム【意見の詳細】

①グループ討議における意見の詳細

1. 新図書館（中心市街地複合拠点施設）整備計画に対する『期待』

【立地場所について】

○ 中心市街地に人が集まり、まちの活性化になる

- ・中心市街地の活性化には大変いい立地である。
- ・四日市中心に人が集まることで活発な人がふえる
- ・発展している方に建てることで駅からの利用者増える... ?
- ・新図書館ができることで、昼の時間内のまちの活性化
- ・より多くの人利用・集まる場所になる。
- ・活性化に役立つのか
- ・市街地活性
- ・中心市街地に人が出やすくなる
- ・地域のイベント等が更に活発になると思うので楽しみにしている
- ・四日市に活力が生まれるきっかけになるとよい

○ 近鉄四日市・JR四日市駅、市役所に人が来る

- ・市役所がもっと人がくることになる（今遠い存在）
- ・市役所に行くついでに行ける
- ・JR 近鉄の利用者が増える
- ・近鉄四日市東側へ人が流れる
- ・JR 四日市駅近辺がにぎわうだろう

○ 近鉄四日市駅東側へ人が流れ、往来が活発になる

- ・国道1号線で分断されている人の往来が活発になる事
- ・近鉄四日市東側へ人が流れる
- ・近鉄駅西に流れている若年者層が駅東にも流れてくる事

○ 交通の便が良くなる

- ・駅が近いし、バス停もあり、タクシー乗り場もあり便利
- ・交通の便利が良い
- ・各地からのバスの便を良くしてくれる
- ・交通手段、アクセス
- ・駐車場の便が良くなる

○ その他

- ・市内を通りますので帰り遅くなくても明るい所を通って帰れますので安全

【図書館について】

○ 蔵書が増える、書籍の幅の充実

- ・蔵書がふえ、新しいシステムでの図書館運営
- ・蔵書の充実 良い図書館にしてほしい
- ・書籍の幅が充実する
- ・郷土の同人誌も収納する図書館にする
- ・図書の数が増えることは期待しました 他の人との交流のできる場所は欲しい
- ・よい本をたくさん入れてほしい。蔵書が倍になることはうれしい

- ・探している本が見つかるようになる。
- ・蔵書量の充実
- ・蔵書増大
- ・蔵書が増える

○ 開架スペース、本棚が広がる

- ・蔵書・開架スペース増床
- ・本棚の通路が広がる？
- ・本棚が低くなる？身長の高い人も取りやすい

○ 新しい図書館、図書館機能の充実

- ・中・高校生の居場所としての図書館機能の充実
- ・さまざまな施設との連携による図書館機能の充実
- ・新しい図書館をつくること
- ・県下で一番立派な図書館にしてください
- ・図書館のハコモノは good
- ・図書館機能の充足
- ・図書館が新しくよくなること
- ・外観（デザイン）、機能 使いやすい図書館
- ・ゆっくり読書できるか期待
- ・静かに本読める
- ・静かに読書できる場をぜひ
- ・居場所づくり、蔵書数も大事ですが、市の資料等も展示、保管できる場所でもありたい
- ・DVD、CD 等も収集するのか？
- ・電子書籍の導入は？
- ・マンガ・雑誌 etc のコーナー 50坪ほど 若者を呼ぶため
- ・四日市の歴史・文化の記録としての図書館に期待します
- ・既週刊誌、月刊誌のテーマ別整理

○ その他

- ・市民からのユニークな書籍の寄附を最大限受け入れる
- ・「図書館」枠にとらわれない新しい形を考えてほしい。
- ・図書館好きの人の意見は大事にしてほしい
- ・今の図書館の良さを生かして継続してほしい
- ・何年かけて倍増するのか（冊数）
- ・図書館の運営 行政主導 or 民間委託
- ・30万都市“四日市”にふさわしい図書館を“中央図書館”だけでなく、分館、市民センター図書館の充実
- ・他市町の図書館視察を年間4～5企画してほしい

【複合拠点施設について】

○新たな交流拠点、市民交流の活性につながる

- ・市民交流活性に役立つのがよい
- ・図書館機能だけではないことによる、いろんな方面の方の交流機会
- ・図書館以外の目的でも利用出来るようになる。
- ・新たな交流拠点、子供たちの教育の場として大いに期待する
- ・高齢者の交流広場
- ・世代間の交流が可能となる
- ・子どもから大人まで幅広い年齢層の交流の場が増える

- ・新しい交流拠点になる
- ・年齢をこえた世代との交流
- ・市民の集まる場ができる
- ・人が集まる施設
- ・交流スペースの充実
- ・多世代交流の場として行きやすい、滞在しやすい、子どもも行きやすいところ

○ 憩いの場になること

- ・要するにゆったりのんびりリラックスできる場所にして
- ・憩いの場、集いの場、広場
- ・複合施設になることによって異世代交流の場、市民の憩いの場となることを期待する
- ・一日過ごせる施設 多様なニーズにこたえる
- ・休めるスペースになる

○ 色々な機能が入った施設となることに期待

- ・複合施設として期待
- ・単なる図書機能だけでなく、多世代交流ワークショップ 情報発信 カフェ空間の機能もあり期待できる。
- ・コンビニ、レストラン、カフェ、リハビリ施設を作る。

○ 学習の場・拠点となる

- ・高齢者の学習の場の確保
- ・学習コーナーの充実（中学生以上）
- ・学生の教育の向上を願って学習広場
- ・学習する場所が増える
- ・受験や勉強場所として利用できる
- ・自習室の利用可能時間の拡大

○ カフェがあって、友達とお喋りできる空間がある

- ・カフェのスペースがあることで、図書館で勉強する学生にとっては滞在しやすい
- ・coffee が飲めておしゃべりできるのがよい。
- ・スタバに勝るサードプレイスになること
- ・カフェ感覚で気軽に利用できる所があるといい
- ・1Fは食堂 コーヒー、午後はステージで何かする
- ・友達とお喋りできる空間があるので良いと思う。
- ・カフェ的な空間を作ることによって、若者の利用が増える。
- ・一日過ごせる場所 喫茶スペース

○ 子育て者、子ども、学生、高齢者といった色々な人が集まる機能や仕掛けがある施設

- ・子育て支援（魅力ある街の為必須条件か）
- ・子どもたちが育っていく上で欠かせない施設となってくれたらよい。
- ・幼児がのびのび育つため養育広場
- ・勉強・子育ての窓口になれる
- ・子育て主婦に対する施設
- ・児童、学生の個の力を伸ばせる環境を期待
- ・子供のひともくるように
- ・若者を呼び込む工夫、手軽さ
- ・高齢者が利用しやすい施設に
- ・超高齢化 この施設で過ごしたい（過ごせる機能）
- ・今後の生き方、老い方をゆっくり検討
- ・老人用の畳の部屋 掘り炬燵の ROOM 欲しい

- ・シニアのスポーツ団体（ヨガ、エアロビクス）などにも開放してもらえらる部屋を設けてほしい
- ・男も気軽に来れるようにしてほしい

○ 色々な設備がほしい（グループ利用の部屋、会議室、ネット対応、おしゃれな内装など）

- ・今現在無くほしい 誰でも使える会議室、楽器の練習のように大きな音が出る練習場が出来たら
- ・グループで利用できる空間があるといいと思う
- ・中・小ホール 会議室、展示室がほしい。
- ・グループで話せる部屋
- ・（例えばアプリなどで）気軽に利用の予約ができる会議スペースができたらい
- ・太鼓など音出せるスペース
- ・ラウンジスペース
- ・親子で飲食が出来る空間が欲しい ex) で50坪位
- ・パソコンの使用が活発になりそう
- ・ネット社会に対応した設備がほしい
- ・コンセントのあるノートパソコンができる空間（コンセント、wi-fi）
- ・おしゃれな内装、大階段、棚・家具、ロッカー新設
- ・テーブル まどにはわせたカウンター（1人でもゆっくりすごせる工夫）
- ・トイレはウォシュレット
- ・堅苦しい設計のレイアウトよりリラックスできる内装

○ 四日市のシンボルとなる魅力的で人を呼べる建物となってほしい

- ・シンボリックな建物 有名建築家設計 他市に自慢できる建物
- ・四日市のシンボルとなる拠点
- ・魅力的な空間
- ・街のランドマーク ・ファサードデザイン、計画のおもしろさ
- ・”建築”そのものが魅力的なものになって欲しい！
- ・四日市のシンボルとなるような施設になる→ブランド力の向上が可能となる
- ・四日市のシンボルとなるような素敵な図書館であって欲しい。
- ・30万都市にあった施設であって欲しい
- ・新しい商業施設が人を呼べるものになること
- ・箱物だけでなく特徴のあるものになってほしい
- ・四日市市外の人々が来訪し、お金を四日市に落とせる集客力を持つこと
- ・学生が集まりやすく名古屋などに人が逃げるのをくい止める施設になること

○ 防災機能も兼ね備えた施設

- ・防災拠点（津波等）
- ・防災の拠点にもなりうる施設にした方がよい
- ・避難ビルの機能に特化すべき
- ・障害者の避難所を作る（公営）

○ 交通手段としての巡回バスに期待

- ・周辺の塾生も使えるバス
- ・夜、バスで巡回

○ 開館時間を長くしてほしい

- ・営業時間（開館時間ももう少し長く）
- ・開館時間は9時～20時とする
- ・営業（開館）時間はのびる？（仕事や学校の後で寄ることが出来る）
- ・開館時間の拡大
- ・安心して帰れる時間まで
- ・高校生9時まで使う
- ・夜まで営業

- ・開館時間は長く、休日は少なくしてほしい
- ・利用時間
- ・図書館の営業時間が短いので、学校帰りとかだと、時間が足りないと思う。
- ・学校帰りの学生が学習スペースを使えるような時間帯まで開いているのか。

○ その他

- ・増加する外国人グローバル化への対応
- ・市民の意向を最優先して下さい。他事例の紹介を！
- ・現図書館→図書館へ 新図書館→ついでに他にも
- ・カフェスペースは民間に任せず、福祉や四日市の市民の力のほりおこしの形のものをつくってほしい。
- ・公共スペースと自習室の分離
- ・希望者をボランティアとして最大活用する
- ・税収につながるだけでなく自ら黒字施設となること
- ・四日市＝公害の街の悪いイメージ払拭 緑・自然などを
- ・1Fは全国各地のアンテナショップ
- ・交流拠点を作るなら今の図書館は残して、子ども・女性・福祉などのセンターを交流拠点として作りそこを憩いの場にしたらどうか
- ・合わせて中央道路の都市計画が見直されることに期待！
- ・これを機に市民の一体感が生まれればいいのでは！
- ・現在地での改善点をしっかりすべき（公園も入れて）◎駐車場増やす◎1F床ふやす◎カフェ作る
- ・大型外国船の観光客や乗組員用の施設（民間）にすべき。◎免税店◎茶室◎コンビニ◎飲食◎みやげ物
- ・早くできてほしい！
- ・自転車置場に四季の木を植える
- ・地下は造らない
- ・商業者とも議論しながら考えること
- ・各人の特性を自己評価してゆける機会
- ・大まかな年齢ごとによる分離の廃止
- ・ディベート力を身に付ける機会
- ・文化を感じられる空間
- ・豊かな文化環境を提供する
- ・科学部門や伝統部門など巾の広い情報施設
- ・東アジアの認識の違いを修正できる機会にしたい
- ・他施設とのネットワーク利便性増大に期待
- ・市立病院との太い導線（交通）
- ・年中無休
- ・森市長（4人）家族が月1回来館して市民と交流
- ・市民の使いやすさ、使い勝手を良くしてほしい

2. 新図書館（中心市街地複合拠点施設）整備計画に対する『不安』

【立地に関すること】

○ 中心市街地活性化と図書館は別に考えるべき。図書館本来のあり方がダメになる。

- ・中心市街地活性化と図書館は別に考えるべき
- ・朝明中学校と大矢知興譲小学校が抱える教育課題に真正面から取り組み、廃棄物など他の要素は絡めないのが、森市長の方針である。図書館も図書館が抱える教育課題に真正面から取り組むべきで、中心市街地活性化など他の要素と絡めるべきではない。
- ・朝明中学校と大矢知興譲小学校を巡る現在の混乱は、ごみ焼却場建て替えや産廃不法投棄問題と抱き合わせで、中学校移転を計画したことにある。同様に、図書館整備を中心市街地活性化と抱き合わせで計画すると、図書館の教育課題の解決にならない。

- ・市街地活性化ありきであることがすごく不安
- ・最優先が市街地活性化、その後に図書館建設がきている気がするが…。別に考えることはできないか？
- ・市街地活性化と図書館は切り離してください
- ・にぎわいの施設づくりでは図書館本来のあり方がダメになる。
- ・図書館来館者は、調べものや予約本受取等の目的が明確な人が多く、その後の用事もあり、図書館利用の後に、街を回遊するようなことは、ほとんど無い。そのため、市役所東広場へ図書館を移転させても、中心市街地活性化の効果は、ほとんど生じない
- ・図書館が市民にサービスすべきなのに、現在の計画は、中心市街地のために、市民が遠くの市役所東広場まで来て、街のためにサービスせよ（金を落とせ）という考え方であり、本末転倒である。図書館が市民が住む近くへ行くべきで、現在地から移転する必要はない。
- ・コンパクトシティを目指して市役所周辺の活性化が必要と言うが、市民に遠距離移動を強いるのは、エコシティに反する。市民が住む地域へ中心市街地が近づいてこそ、コンパクトかつエコなシティになる。市民の住む場所に近い現在の図書館を移転させる必要はない。
- ・今ある商店街の活性にはつながらない
- ・図書館に市街地活性化を期待する声はあるが、まずは、社会教育施設として必要な機能を整えることが優先事項。市民の家に近く、隣地で広い駐車場を整備できる可能性があり、公共交通機関から徒歩圏内の現在の場所が、社会教育施設として適している。
- ・図書館中心の計画なのに図書館の議論がされていない。
- ・中心市街地と図書館をいっしょに計画して考えるべきは無理！
- ・集客ありきで図書館の本質がないがしろにされるのではないか。
- ・中心市街地つくりのための図書館？
- ・中心市街地の活性化ありきで立地場所が考えられている
- ・図書館として単一の施設を望みます
- ・図書館自体の機能、役割が議論されていない
- ・商業施設 市街地活性化ありきの計画だと思ってしまうこと
- ・図書館はどうあるべきか総合的な計画のもとに図書館建設は独自に取り組むべき
- ・中心市街地政策と図書館建設を分けて考えて欲しい。安易に人集めのために箱物に入れないでほしい
- ・図書館は街のにぎわいをつくるためには役立たない
- ・誰もが来やすい場所に建てるべき 中心市街地活性化に利用されない図書館を

○ 全ての市民の利用を考えて、生活圈や人口分布に配慮した場所に図書館は建てるべきだ。

- ・図書館の議論をしよう。全ての市民の利用を考えて
- ・図書館は、全ての市民に満遍なく図書を提供することを大切な理念としている。（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）よって、市民が住む市域中央から遠くなる、市域東端の市役所東広場へ図書館を移転させるのは、全市民へくまなく図書を提供する理念から外れる。
- ・「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」は、住民の生活圈や人口分布への配慮は求めているため、博物館はどこに建ててもよい。図書館は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、住民の生活圈や人口分布に配慮した場所に建てる必要がある。
- ・図書館の設置は、住民の生活圈を十分考慮することが、国の規準で定められている。（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）よって、市域の西に広がる住民の生活圈から遠い、市役所東広場への移転は、国の規準に反し、図書館の理念とは合致しない。
- ・図書館の設置は、人口分布を勘案して、適切な位置を定めることが、国の規準で定められている。（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）よって、四日市市の人口分布から著しく東へ偏った市役所東広場への移転は、国の規準に反し、図書館の理念とは合致しない。
- ・日本図書館協会の「公立図書館の任務と目標」には、住民の大多数がサービス圏内に納まるように図書館を設置すべき旨が記されている。その条件に近いのは、市役所東広場ではなく、現在の図書館である。
- ・人口重心を考えるべき
- ・図書館法第17条は、図書館利用無料の原則を定めている。博物館は有料でも良いが、図書館は無料であるべきと定めたのは、全ての国民が図書館を利用する国家的必要性を認めたから全ての市民が利用しやすい人口重心近くに図書館を整備すべきで、それは現在地。

- ・四日市市の人口重心は、大井手二丁目（北緯34度58分40.97秒、東経136度35分58.73秒）。全ての市民に公共施設が一番近くなるのは、人口重心に建築した場合。よって、全市民を対象とする中央図書館は、人口重心に近い現在地（久保田）から移転させる必要はない。
- ・中心市街地は、市民に商品やサービスを提供するために存在する。ならば、中心市街地は、市民へ近づいていくべき。四日市市民の人口重心へ、中心市街地が近づくことが、市民の役に立つ中心市街地となる。人口重心に近い現在の図書館を移転させる必要はない。
- ・市民全体の利用を考え、もっと西の方に作る考えはないのか
- ・図書館は、読書や調べもの等、全ての市民に日常的に利用されてこそ、意義がある。たまにしか行かない、たまに来てもらえばいい施設とは異なる。よって、市民が住む地域から遠くなる市役所東広場へ図書館を移転させるのは、明らかに間違っている。
- ・図書館の設置及び運営上の望ましい基準（H24.12.19 第172号）

○ 現図書館を増築すれば、現在図書館が抱える課題は解決でき、市街地活性化にも繋がる。

- ・現図書館の場所が×な理由は？
- ・現在の図書館が抱える三大教育課題は、蔵書の少なさ、空間の狭さ、駐車場の少なさであり、その課題に解決することに集中すべきである。現在の図書館を増築することで、これらの教育課題は解決する。教育課題から見て、市役所東広場へ移転する必要はない。
- ・朝明中学校と大矢知興譲小学校の抱える教育課題を真剣に解決すべく、学校移転ではなく現校舎増築で解決しようと、森市長は尽力されている。図書館の教育課題を真剣に考えると、現在地での増築が最適であり、市役所東広場への移転は問題解決にならない。
- ・現在の図書館は、市役所庁舎とほぼ同じ時期に建築（昭和48年）された、鉄筋コンクリート造の頑丈な建物である。一部に雨漏りはあるものの、建物躯体は綺麗なままである。市役所庁舎同様、この建物はまだまだ使い続けるべきある。新図書館整備費用はその方が安い。
- ・現在の図書館の西隣に久保田公園がある。この公園敷地を使って、図書館専用の立体駐車場を造り、屋上を公園として常時開放する、「立体公園制度」を用いた駐車場整備を行えば、現在の図書館の駐車場不足は解決できる。よって、図書館を移転する必要はない。
- ・現在の図書館は、当時、市が力を入れて建築したもので、中部建築賞を受賞した。公共施設にカーテンウォールをいち早く取り入れた建物で、建築史専門の学者も調査に来る。そのようなしっかりした建物は、図書館として、まだまだ使い続けるべきである。
- ・現在の図書館の敷地は、あと10,000㎡増築できる。これは、市役所東広場で予定する図書館の床面積（8,000～9,000㎡）より広い。移転ではなく、現在の図書館を増築して、床面積10,000㎡を超える新図書館を造るべきである。（容積率300%、建築可能床面積14,214.03㎡）
- ・市役所東広場は、バス路線が多いと言うが、現在の図書館もバス路線が多い。三重地区・桜地区・川島地区等から四日市駅へ行くバスに加えて、四郷地区から市立病院へ行くバスも通るなど、バスの便はかなり良い。よって、図書館移転の必要なし。
- ・これからの図書館は、課題解決型図書館であることが求められる。市立病院に近いことを生かして、現在の図書館を増築して医療関連情報提供を行えば、文化と医療の公共施設集積を有機的に活用した、市民に役に立つ中心市街地とすることができる。
- ・現在の図書館と文化会館と市立病院は近くにあり、市民にとって、「文化と医療の中心地」である。この公共施設集積を生かして、久保田・芝田・安島を「文化・医療ゾーン」として育てていく方が、現実的な中心市街地活性化である。
- ・中心市街地活性化は、顧客志向で考えるべきであり、顧客が集まりやすい場所を整備することが成功につながる。顧客は住んでいる場所に近い、久保田・芝田・安島に集まっており、現在の図書館を中心としてこのエリアを整備することが、中心市街地活性化になる。

○ なぜ東側広場なのか。ここが良いという意見が多かったのか。他に探す努力をすべきだ。

- ・中心市街地の東の端に建設すべきか？
- ・なぜ庁舎東なのか
- ・場所を市が先に決めてしまおうとしているが、この場所が良いという市民の意見が一番多かったのか？
- ・他に建設場を探す努力をすべきだ
- ・他にも良い場所がある

- ・四日市の新しい図書館は、基本機能はもちろんだけど、子どもも大人もバリアフリーで集える場所になるといいなあ、笑顔がいっぱいで、ワクワクで遊びに行く感じで、未来志向で何かが生まれる場所になるといいなあ、何より子どもたちとちゃんと手渡せる図書館にしたいなあ、なんて思いながら中心市街地を歩き、再発見した場所が複数あります。新図書館の建設場所についてのご提案です。
- 最初に、四日市市議会は、場所の選定を含め、既に方向性を示しています。「四日市市議会議員政策研究会新しい図書館を考える分科会調査研究報告書」を参考に議論できればと思います。中心市街地のどこに建てるかはとても大きなポイントです。NPOとしては、市民の大切な施設建設が議論され複数の候補地が思い浮かぶ中、選択肢が示される前に「市役所東に」と出たことから不思議に思い、市議会議員さんや市政情報センターなどでお聞きしたところ「基本計画を策定するために市役所東に建設するとして決定、場所の変更はある」ことを確認しました。つまり、これが正式決定ではなく、長期間停滞していた図書館建設計画を押し進めるために示されたモデルであり、場所も中身も、市も市民も議会も、もっといろいろ議論して決めていこうということでした。
- 決して市役所の東に反対する訳ではありません。選択肢を出すことで、複合的、建設的に、活発に議論でき、市民が求める図書館像～コンセプト～が明確になるのではと期待するからです。市の案にはいいところがたくさんあり、議論のベースになると思います。コストもあるでしょうが、まずはどんな図書館にしたいか、皆でゆめのある議論をし、それを実現するための方法を検討するのが手順と思います。厳しい判断が必要になるかもしれませんが、広く公開で検討、整理し、専門家だけでなく市民の知恵もお借りして青写真を作り上げていくプロセスが市民参加には大切なのではないのでしょうか。そのために、市役所の東に加えて、いくつかの候補地をご提案させていただきます。他の候補地は「鶴の森公園：(例)本と憩いと遊びと散策と～歴史香る鶴森に子どもたちの笑顔が集う四日市らしい公園と図書館を～」、「JR四日市駅前と周辺の再開発事業：(例) - 四日市の近代産業化を支えた港と鉄道 - その玄関口に四日市らしい未来型・機能型の図書館を」、「なやプラザとその周辺：(例) 地域福祉と市民活動と図書館と - 地域に根ざした複合型施設の図書館を - 」※現在の図書館の跡地は、歴史的背景から、戦災の慰霊の場所が良いように思います（市議会報告書参照）です。それぞれ一長一短はありますが、どの候補地も知恵と工夫と発想力で四日市らしい図書館になる可能性を秘めています。四日市のまちの未来像ってどんなだろう？ここにこんな図書館があったらいいよね、そのための課題はこれかなあ、どう転換したらクリアできるかなあ、など幅広く議論できればと思っています。一方で、上述の市議会報告書やこれまでの経緯を受け、もし市が既に検討を行い市役所の東に決めているなら、今後の議論のため、その選定条件と市役所東側広場を選んだ理由、他の候補地が選ばれなかった理由などを教えてほしいと存じます。

○ 東側広場へ施設を整備することで、市街地活性化に繋がるのか。

- ・空気が目立つ中心市街地復活に期待できるか
- ・諏訪地区全体への面的広がりをどうするか
- ・回遊性がうまくいくか
- ・四日市駅との動線上のアーケードの整備はどうするのか？
- ・市街地活性化は過去成功しているとは言い難い

○ 東側広場では、高層（ビル）型の建物になり使いにくい。特に、図書館は不便になる。

- ・高層ビルではエレベーターがあっても行き来が非常に不便だと思う
- ・この狭い敷地に8階建の建物で図書館内の移動もしにくい
- ・ビル型の図書館は、多くの人にとって、階の移動が億劫である。開架書架が4つの階に分かれた計画では、限られた書棚や階に利用者が留まりがちになり、人と本との新たな出会いの芽を潰してしまう。図書館は、極力、階数を減らし、平面空間を広くすべき。
- ・ビル型の図書館は、「ビル内を上下する階段・エレベーター・エスカレーター」と、「図書館内を上下する階段・エレベーター・エスカレーター（未貸出の本を持って移動するため、専用階段・エレベーター等が必要）」で、スペースが取られる。その分、ビル型図書館は、書棚や閲覧室が狭くなる。
- ・図書館は平面的な方が使いやすい。7・8Fは使いにくい
- ・面積の狭い敷地でゆっくりと読書ができるか
- ・現在の計画は、開架書架だけで4層、書庫も入れると6層にも分かれるが、そんな図書館は日本では豊田市立図書館くらい。豊田市立図書館を訪れたが、各階に職員が配置され、階段・エレベーター・エスカレーターだらけであった。人件費も運営費もかかる、金喰い虫である。

- ・施設を平面的な作りにできるか 運営にどれほどの人員を出せるか
- ・平面的な作りで子供も大人も交流できるスペースで！
- ・平地で考えてほしい
- ・ワンフロアないしツーフロアでおさまらず、つまみ読みできない。
- ・8階建て 複合建築
- ・8Fだてのビルの上階に図書館は使いにくい
- ・蔵書を入れる書庫が最上階になるなど不合理
- ・敷地面積のせまさ 敷地が狭すぎる 8Fだてのビルになる
- ・7階建てだと1階のスペースが狭くなり分断されてしまう
- ・少し小さくないか
- ・空間のすみわけへの不安

○ 東側広場では図書館として問題が多い。図書館の課題が解決すると思えない。(駅からの距離、駐車場)

- ・中央図書館としては問題が多い
- ・現在の図書館が抱える三大教育課題は、蔵書の少なさ、空間の狭さ、駐車場の少なさであるが、市役所東広場への移転では、駐車状況は悪化し、図書館が多くの市民の家から遠くなり、ビル型で使いにくくなる。課題解決どころか、図書館の教育課題が悪化する。
- ・図書館は、ゆっくり時間を過ごす滞在型利用もさることながら、市民の調べものや読書要求等に、迅速にこたえる場である。市役所東広場への移転は、図書館が家からも駐車場からも遠くなるため、図書館に求められる迅速性を提供できず、不適切である。
- ・現在の図書館が抱える教育課題に、駅からの距離を挙げる意見もあるが、近鉄四日市駅から徒歩12分は許容範囲である。文化会館が近鉄四日市駅から徒歩10分であり、そこから図書館まであと2分歩く状況は、改善すべき政策課題とは言いがたい。
- ・現在の図書館が抱える教育課題に、JR四日市駅からの距離を挙げる意見もあるが、JR関西線の各駅から1～2km歩けば、近鉄やあすなろう鉄道を利用して、近鉄四日市駅へ直接出ることができる。よって、図書館をJR四日市駅へ近づける優先度は高くない。
- ・現在の図書館は、近鉄四日市駅から徒歩12分。市役所東広場は、近鉄四日市駅から徒歩10分。たった2分しか縮まらないのに、百億円近くのコストを投じるのは、税金の使い道としておかしい。図書館を移転させる必要を全く感じない。
 - ・駅から遠い 年をとったら来られない
 - ・駅から遠い
 - ・自宅から遠くなる。不便になる
 - ・駅から遠いと学生は利用しづらい...？

○ 東側広場は、津波や水害などを考えると安全面で不安・心配な場所である。

- ・高層ビルの防災、海に近い等、安全上はどうか？
- ・東日本のような津波はこないと聞くが、避難命令が出ない場所に図書館は建てるべきだ
- ・市役所の東側は、水害時に最大水深5mの浸水が予想されており、水に弱い図書の保管場所としては、不適切である。市役所東広場には、中核市移行で必要となる執務スペースを兼ね、浸水被害の危険がある市民が避難できる、防災タワーが必要。
- ・建物の安全性
- ・災害の浸水地帯に図書館を作るのはどうか？
- ・心配！不安！ 場所2m水没地区！ 来ている人、本など水没してしまう
- ・津波などの防災を考えると、海の近くは避けた方がよいのではないか
- ・海が近いので津波が起きたときに心配になる
- ・場所をもっと他のところにしてほしい(津波が心配、せまい)
- ・地震がおきた時、この7・8Fの図書館では不安！
- ・東日本地震後、三重県、国は西へ公の建物を新築する場合移動と言っている
- ・市役所の回りに広場がなくなると、災害時に対応できなくなるのでは？
- ・立地場所について津波対策はどうするか
- ・海拔が低い

- ・環境が安全であるか立地や建物について
- ・災害時には？十分な対策がとられるのですか
- ・空き地として確保

○ その他

- ・日本図書館協会の「公立図書館の任務と目標」には、図書館は住民の生活動線上にあり、立地条件のよいことが重要と記されている。住民の生活動線は、近鉄四日市駅より西側までに納まることが多く、現在の図書館の方が、住民の生活動線の上にある。
- ・市民は普段、市役所周辺まで来ない。中心市街地へ来る途中のスーパーや飲食店等で、多くの用事を済ませて帰る。中心市街地の入口(久保田)に現在の図書館があることは、このような市民の行動原理に合っている。
- ・近鉄四日市駅西タクシー乗場空間に複合施設を(今後の市の計画に対応できる施設建設も含めて)
- ・近鉄とJRの中間に位置しているが、駅の利用人数からしてバランスがとれないのでは。
- ・JR四日市駅周辺はさびれていない？
- ・JRの高架か地下をしないと、JRと近鉄の間にする意味が見いだせない。
- ・近鉄四日市から現図書館は約800m、新庁舎は約600m→利便性を考えて近鉄四日市西空間に設置すべき
- ・JR四日市駅～文化会館距離ありすぎ
- ・議論が遅かった... 三交ボウル、ジャスコ跡地にすべきだったのでは。
- ・中央通りと三滝通りの交差点は戦災復興のシンボリックな場所であるが、市民が日常で頻繁に使う施設を整備する場所ではない。住居系の埋立地が東になく、市民が市域の西に住まざるをえない以上、市民へのサービス施設は、西へシフトすることが、市民満足になる。
- ・利便性の高いJRそばの三和商店街の方が便利
- ・交通量が多く子ども達が通うのに危険ではないか
- ・四日市以外に住んでいる人には少しわかりにくい場所である。
- ・近鉄四日市駅からの動線は国道1号線で遮断されている、港との動線についても、連続立体校舎事業が凍結されていることから、JR・23号線がネックとなる。
 - ・JR 近鉄駅の距離感をどう埋めるか
 - ・狭い施設だと思う
- ・一回は来ても使い勝手が悪いのでリピーターが少なそう。利用者が不便。
- ・市役所東に学生が行くかどうか？

【新図書館に関して】

○ 図書館と色々な機能との競合は難しい。図書館本来の役割や機能が果たせるのか。

- ・いろんな施設が入って混乱を招く(図書館機能と商店が共用できる)
- ・狭い敷地での他機能を含むことがムリ
- ・複合施設として図書館を作るのはどうか？
- ・既存の施設に倣ってよいのか？カフェ？図書館本来の役割をはたせるのか？
- ・複合施設である故、図書館としての機能が心
- ・人を寄せる目的でカフェなどが入る複合ビルが図書館になると、図書館本来の役目があいまいになる
- ・図書館(知的文化施設)としての機能低下
- ・利用者の属性に合わせた施設内のゾーニングができずに利用者同士トラブルになる危険性
- ・「ゆっくり滞在」ばかりではじっくり「調べる」人の館内での居場所は確保されるのか否か？
コーヒを飲みながらでは、本や資料を汚されないのか？と思います。
- ・本があるだけの図書館にならないか...。
- ・静かすぎる図書館にならないか？

○ 自動車文庫は存続するのか

- ・市街地以外の利用者のため、分館、自動車での移動図書館はどう考えているか？
- ・現在の計画では、自動車文庫のプラットホームが用意されていないため、このままでは、自動車文庫は

廃止となる。同格都市と比べて図書館分館が大幅に少ない本市で、自動車文庫を廃止することは、全ての国民に図書を届けることを理念とした図書館法に反する。

- ・図書館に来させることばかりに注力して、図書館に来られない人まで本を届ける自動車文庫がなくされるのではと心配です
- ・場所が狭く自動車文庫の存続は大丈夫なのか
- ・自動車文庫が継続できなくなる危険が不安
- ・移動図書館 自動車文庫は現在2台 積載数3,000冊/1台 切り捨てられるの？

○ 現在の図書館はどうなるのか

- ・現在の図書館は博物館に近く、文化ゾーンとしてあるのかと思っていたが、今後の見通し
- ・現在の図書館はどうなるのか？
- ・現図書館の跡地活用についてどうなるのか？
- ・今ある図書館はどうなるのですか？再利用の考えは？
- ・今ある図書館はどうなるのか

○ 図書館の色々な機能は充実するのか（ネット対応、ビデオ・オーディオ、電子書籍、音訳・点訳など）

- ・時代の流れにより書籍の電子化が進んでいるが、それに対応できる図書館になるのか不安
- ・インターネットを使える環境はあるのだろうか？課題の調べものに使いたい
- ・AV（オーディオ・ビデオ）関係について、新しい図書館では充実されるのか？
- ・音訳、点訳、対面朗読の専用室を作っていただけなのか？

○ 自動書庫の導入に対する不安

- ・現在の計画では、7階と8階に自動書庫の導入が予定されているが、自動書庫は、司書が本棚を見ながら図書選定できない。1冊づつ書名を、搬送機械端末へ入力しないと、図書が手元に届かないため、自動車文庫に乗せる図書を選ぶ所要時間が、大幅に増える。
- ・現在の計画では、7階と8階に自動書庫の導入が予定されているが、司書さえも自動書庫の中に入ることができない。機械故障時には、修理業者が、近くて名古屋、時には東京から来るため、それまで、自動書庫内の図書が全て取り出せなくなる。
- ・現在の計画では、7階と8階に自動書庫の導入が予定されているが、自動書庫は、司書が書庫の中に入れず、本の配列もランダムになる。そのため、本棚の並びから必要な図書を司書が見つけるといった、ブラウジングが、一切できなくなり、図書館業務に支障が出る。
- ・自動書庫は、機械故障時に人による図書出納の代替手段がなく、図書館機能がマヒしてしまう。危機管理上、極めて問題があり、採用すべきではない。スライド式書架を採用すれば、収容力があり、図書を取り出すスピードも速い。

○ その他

- ・持ち込み学習者のスペース占領への対応
- ・滞在型図書館を目指すとの議論があるが、ゆとりのない利用者も多い
- ・現在の図書館よりもこまやかな対応ができるか？
- ・ビル全体で一組の「階段・エレベーター・エスカレーター」しかない、ビル型の富山市立図書館本館のように、図書館の目が届かないビル1階のセキュリティゲートで、貸出手続きの有無を確認することとなり、十分なトラブル対応が行えない。
- ・現在の計画は、交流共有スペースの様子を見ながら図書館内を上下する旨、書かれており、ビル全体で一組の「階段・エレベーター・エスカレーター」があれば良いと考えているようだが、あまりにも図書館運営の実態や利便を無視している。図書館内専用の階段等は不可欠。
- ・蔵書数増やすお金はどこから？
- ・蔵書の選び方、予算（購入リクエストにどの位応じてくれるか）
- ・増える蔵書の処理
- ・現状の図書館に満足している為不安。年間150冊以上借りている
- ・隣県の小牧市のように財政難のこの時代にはたして新しい図書館が必要なのか投票でも、アンケートで

もとことん地元の人の意向を聴いてくれるのか？

- ・図書館運営費に限られる中で、無料駐車券の費用で図書費がけずられないか
- ・現在、あさけ、楠にも図書があるが、その後は？
- ・分館も充実を
- ・地域ごとに図書館機能を充実させる
- ・他の図書館の利用者が減るのではないか
- ・今の図書館は様々なところに目くばりのきいた良い図書館だと思うので、特に移転する必要を感じない。

【複合拠点施設に関して】

○ 今ある他の施設（橋北交流開館、三浜文化会館、本町プラザ、なやプラザ等）との競合にならないか。

- ・文化会館との機能競合
- ・今ある公共施設の活用、住みわけ、連携
- ・市役所の周辺では、公共の貸館が沢山整備された。（橋北・三浜・納屋・本町・総合等）そのため、多世代交流スペースは、会議室過剰であり、税金の無駄遣いである。ワークショップや四日市祭ミーティング等は、本町プラザや納屋プラザで十分。
- ・三浜、橋北文化センターと競合しないか

○ 子ども、子育て者、高齢者など色々な方に配慮した施設にできるのか

- ・高齢者対策は充分されているか
- ・緑が不足しているのではないか
- ・子ども、お年寄りにとって安全な施設になるとよい。耐震なども。
- ・高齢者対応
- ・医療施設の充実
- ・弱者（来館困難）に対する手当が論じられてない 盲人の方、車いす利用者、病気療養中の方など

○ 図書館以外の機能はどのようになるのか。この施設でなくても他の場所でできるものもあるのでは。

- ・街や港を眺める交流共有スペースが全ての階に配置されているが、市役所11階こそ、港や街を眺めることに適している。市役所11階を休日も開放すれば、市役所東広場に展望機能は不要。休日は、警備員を11階にも配置し、エレベーターが途中階に止まらなくすればよい。
- ・情報発信スペースが1階に200㎡計画されているが、市役所1階を改装すれば、同様のスペースは十分設置可能。休日は、近鉄四日市駅の観光案内所：四十三茶屋で情報発信を行える。
- ・カフェはどこが運営？（市役所的な運営はごめん）
- ・ランドマークは不要
- ・市役所のすぐ近くで、10階を超えるマンションが次々と建築されており、市役所東広場に8階建ての建物を建てても、ランドマークにはなりえない。港への景色を見せたいのなら、市役所11階を休日も開放すれば良い。市役所は今でも十分なランドマークである。
- ・人を集める図書館以外の機能が重要である
- ・ソフトが重要
- ・ある程度話ができる共有スペースについてしっかり考えてほしい
- ・情報発信機能もどういった内容か？
- ・どういった多世代交流、ワークショップを考えているのか？
- ・学生との共存（滞在時間、滞在場所）

○ 図書館をはじめとする施設の運営方法、民営化に対する不安

- ・図書館に勤めている人たちの努力が無にならないか。成功するか。
- ・人材の確保ができるのか

- ・運営は桑名方式を採用して下さい。市職員は10名とする
- ・民間の図書経営は先行きが確かでないため、今時点ではダメ。
- ・指定管理の場合、こちらの要望を出せば、あるいは予算を出せばよさげにやってくれると思いますが、指定後は、こちらの意見はさめないのが心配
- ・基調講演で紹介された他県の図書館はすべて指定管理のところばかりなので、県内のそれも自治体自力からの発想で運営されている図書館のことも参考に、行政は事を運んでいるのか大変心配です。指定管理は後々問題出るのでは？
- ・建設後の管理運営を民間に丸投げする事
- ・運営はどのようにするのか？
- ・図書館司書の方々が引き続き能力は発揮できますか？
- ・多世代交流、ワークショップの運営者は？
- ・民営化等による図書館サービス（レファレンス）等の低下
- ・民営化にすることに反対です。司書さんの待遇、質を引きさげる不安がある
- ・司書の能力の蓄積が阻害される
- ・何でも民営化すればよくなると思えない
- ・市が運営に責任をもつべき
- ・どのように整備するのですか？最近民間に任せる仕組みがみられるが大丈夫か？

○ その他

- ・外観（ハード）より内面（ソフト）のユニークさが出しにくい
- ・中身についてのことがほとんど提案されていない
- ・その後のビジョンが見えていない
- ・つながり
- ・市役所建物との一体開発の方がコストは安くないか…。
- ・予算の見通しは？安かろう悪かろうで将来に禍根を残さぬように
- ・施設の維持費が高くなり、結果として市民負担や他のサービスの悪化につながるのでは？
- ・活動の場の提供→役所 施設をどう使うか、市民の問題
- ・行政が先走りすぎないか心配
- ・図書館については、なぜこの場所にしたのか今一つ説明がわかりませんでした
- ・本来必要なものとの費用対効果はどうなるのか？
- ・中心市街地、インフラ整備、都市計画、100～150年の大計を考えるべき。「ライフサイクル設計」をし、税金を有効に活用する、イニシャルコストが高くなっても、ランニングコストが少なくなり、その方が、無駄な税金で補修をしなくて済むので、そうした考え方が重要。
- ・移転ありき、複合とか 今の場所、建物をいかに使うか考えてみたら？
- ・最初のプレゼンテーションで景気のいい話をおっしゃっていましたが、アメリカの大都市ほどの経済力が四日市にはないと思われる。工事費もかかると思う。
- ・空調工事に注意 現図書館
- ・切りとり、はぎとり 監視・防犯カメラ
- ・雨もり図書館 岐阜市図書館 設計・施工に注意
- ・市役所も年数がきているが、こちらはその場所にたてかえるのか？
- ・図書の購入、喫茶店の運営、管理する人たちの雇用など、地元の人のいわゆるマンパワーをフルに使っていただけるか心配です。「地元経済再生」のためです。市議会平成24年請願6号の延長でもあります。
- ・施設の広報の方法→施設が完成した後も含めて
- ・市街地以外にする住民へのサービスの低下
- ・プラットホーム書かれてない
- ・夕方、夜の街、危ない
- ・税金がハードに70% 30%がソフトに使わないと10年後は元のモクアミ
- ・夕方以降の環境は大丈夫か？
- ・これまでの議論の経過（立地場所）オープンに
- ・「まち」自体のお店についても再考しないと人は集まらない
- ・いまだにバブル的な街づくりを考えているのでは？

- ・今日（4回）の議論がガス抜きになると心配！！
- ・議論の結果をこのまま市へ
- ・専門的、真剣集中的な議論を（メンバー固定）
- ・市会議員何名参加されているか？聞きたい！！
- ・トップ3人が市の天下りで改革はムリでは？
- ・市役所に勤める職員が便利になる。（仕事さぼりに行かないか）
- ・新館職員は職員公募で市民が面談で決めるのか？
- ・（中・高年）不良の集まり場にならないか心配
- ・タダは× 利用者負担 それだけの魅力を

○ 施設の整備計画は市民にあまり知られていない。もっと市民の声を聴いてほしい

- ・子ども達（小・中・高）の声を聞いてほしい 市が学校に出向いてほしい
- ・市民の意見を聞くポーズではなく、意見を取り入れることのむずかしさ
- ・今回の構想を定める前に、市民の声を聴くべき
- ・市民が知らないうちに計画が進んでいる
- ・一般市民はどこまで新図書館複合施設についてわかっているのか。
- ・まだ東空き地で決まっていないのに決まっているように計画が進められている。広く市民の声を聞いてほしい
- ・若者に周知されない

【交通アクセス、駐車場に関して】

○ 駐車場の数が足りるのか

- ・駐車場の絶対数が足りない
- ・駐車場が今でも混雑していてとれるのか？
- ・駐車場一少ない たくさん来てもらうのに人はきにくい。不安！
- ・駐車場が庁舎と同じなのでこれで足りるのかどうか心配
- ・（駅前等）活性化とあるが駐車場が足りるか
- ・駐車場が本当に確保できるのか
- ・駐車場 利用できないおそれがある
- ・駐車場計画は十分計画が必要
- ・駐車場スペースの確保
- ・駐車場台数ホントに足りるの？

○ 施設整備とともに、新たに駐車場を整備（現市営駐車場の改修も含む）するべきでは

- ・既存の駐車場だけをたよるのはおかしい。建物とともに整備をしてほしい。
- ・現在の駐車場狭くて入りにくい。合わせて整備必要
- ・図書館学の父：ランガナタンの「図書館の五原則」の4に、「図書館利用者の時間を節約せよ」とある。図書館は、市民の家の近くにあり、駐車場は図書館に併設されねばならない。これを満たさない市役所東広場への移転は、図書館に求められる原則に反する。
- ・図書館利用者の7割は車を使って来館し、現在の図書館の不満の一位は、駐車場の少なさである。図書館専用駐車場を持たない、現在の計画の新図書館など、新図書館を長年望んできた図書館利用者の声を、全く無視している。
- ・駐車場が図書館の敷地内にはないのは、弱者に不便では？
- ・子供を連れてくるのには駐車場の確保
- ・駐車場を新しい建物には全く作らないのか
- ・無料券(P)の市の負担で、新たなPが建てられるのではないか
- ・現在の市営駐車場は狭く、使いにくい。来館高齢者を考えると、この駐車場整備も必要
- ・今の市営駐車場は使いづらく弱者（子ども連れ、障害者）にやさしくない
- ・駐車場が狭いため、渋滞するのでは？

- ・市営駐車場コアが狭く駐車しづらい
- ・駐車場が不便で狭い
- ・中央駐車場の狭さ 根本的に建て直し
- ・市役所に入るのにすごく時間がかかる
- ・駐車場が心配 中央駐車場は狭いのでこわい くすの木は使いづらく暗くてこわい

○ くすの木パーキングや民間駐車場では、施設から遠く、雨の日は濡れたり、使い勝手が良くない。

- ・駐車場、駐輪場 雨に濡れず行きたい
- ・図書館は、サードプレイスだけではない。ファーストプレイス（家）やセカンドプレイス（職場）と一体となって、家や職場で必要になった知恵や情報を、いち早く市民に届けることが求められる。家の近くにあり、タッチ&ゴーで短時間でアクセスできる立地や駐車場を備える必要がある。
- ・使い勝手のよい安全な駐車場にして欲しい
- ・市役所周辺のPは、現在でも待ちが並ぶのに、くすの木を使っても遠いし雨に濡れるし使いにくい。
- ・新図書館の駐車場は、中央駐車場の余裕台数が少ないため、メインは、くすの木パーキングや民間駐車場になるが、そんな遠くから歩かせると、雨の日は貸した図書が濡れてしまう。図書を濡らしたら弁償が必要であり、入手不可な図書だと図書館も被害を被る。
- ・新図書館の駐車場は、中央駐車場の余裕台数が少ないため、メインは、くすの木パーキングや民間駐車場になるが、そんな遠くから歩かせるのは、バリアフリーの観点で間違っている。車で来る、高齢者や乳幼児連れの大変さを考えていない。
- ・新図書館の駐車場は、中央駐車場の余裕台数が少ないため、メインは、くすの木パーキングや民間駐車場になるが、そんな遠くから歩かせるのは、利用者いじめである。借りた図書を返すだけや、予約した本を受け取るだけの、短時間利用のニーズに合わない。
- ・駐車場が遠い
- ・駐車場が、雨の日でも、親子づれでも利用しやすい駐車場を望みます
- ・くすの木パーキング 明るく使いやすく

○ その他

- ・歩行者中心のまちづくりにすべきである
- ・新庁舎の空間へは歩行者は行けない（車優先はダメ）
- ・役所横では車でくるのに不安、事故起こしやすい
- ・国道一号線、70m道路等、交通事故の増
- ・自動車通行量が増え、渋滞や事故が増えないか不安
- ・子育て、高齢者のための公共交通としては駅から遠く感じる。歩く歩道、市電、無料巡回バスなど
- ・商業施設として考えた場合、駅から徒歩時間が長すぎるので集客力に不安
- ・弱者（幼児、身障者）対策は充分か
- ・周辺の民間駐車場との兼ね合い
- ・来館者の足が心配 市の西部など、ここから遠い所の高齢者が来やすい所と言えるのか？
- ・駐車場問題 図書館法第17条 図書館利用無料の原則
- ・駐車スペースの確保→民間のものを利用する場合の予算
- ・安心していられるように長時間駐車
- ・ゆったり過ごすためには駐車場利用時間の多い方がよい。2～3時間では足りず、6時間は必要である。（駅からは遠いから）
- ・駐車場は必要？

④アンケートの詳細

【中心市街地複合拠点施設整備の基本的な考え方について、理解できなかった点（自由記載）】

○ 図書館と中心市街地複合拠点施設をあわせて考えていること自体が理解できなかった

- ・図書館が、どうして市街地活性化につながるのか、納得できない。市街地活性化も、図書館建設も、それぞれ独自にじっくりと市民の意見を聞いて、ねりあげるべき課題です。急いでやるべきではありません。
- ・図書館がまず市街地活性の観点から考えられていること、そのものに疑問を感じる。
- ・中心市街地・・・整備と図書館建設とは分けて考えるべきである。文化拠点として図書館と位置づけ単独施設がいい、コミバスを使って各施設を回り、新図書館を生桑町あたりに2階・3階立て図書館を立てほしい（市庁東側は空き地としておいておくべき） “住むなら四日市、子育てするなら四日市”を本当の意味でめざして下さい。
- ・複合施設という名で図書館とどう結合していくかが不明で、私たちの望む図書館ができあがるのか不安
- ・図書館が必要というのはよくわかったが、どうしても複合施設にしていかなければならない理由がよくわからない。複合施設で何をしたいのか？

○ 図書館をつくりたいのか、中心市街地活性化拠点施設がつくりたいのか分からなかった

- ・結局のところ何をつくりたいのかわからない。図書館なのか？ にぎわいある街づくりなのか？ 立地？すべてが疑問だった。
- ・新図書館なのか、複合拠点施設なのか、本当につくりたいのはどちらですか。人を集める場所をつくりたいということだけしかわかりませんでした。グループ討議の司会の方が、他市の複合施設の方で、四日市市や図書館のことをあまりご存じではないような気がしました。
- ・図書館をつくるため？ 中心市街地複合拠点のため？ 何のためにつくるのか。図書館は今のところで、中心市街地複合拠点とは別に考えてほしい。

○ 具体的なことがはっきりしない

- ・図書館単体の話よりも、もっと街づくりベースの話についてワークショップを行った方が明快だったかと思えます 個人的には活性化方針には賛成だが、具体性が見えないので今後期待したい
- ・市側が複合施設を立てることについて活性化すると思っている具体的な考えが示されていない
- ・具体的な回答が聞けなかった すべて『検討中』なのでよくわからない
- ・不確かな情報かとびかい、それに対しての不安、反対意見が多く、もっと実現されるグループからのプレゼンテーション的な話が必要で、図書館自体の事にふれる時間が少なかった。
- ・時期・予算・議論の経緯など、情報を開示してもらいたい。わからない、決まっていないばかりで残念である。
- ・市がもっている中心市街地活性化への“ビジョン”が見えない。中心街は国道1号線より西のイメージ、今さらなぜ無理して東へ行く必要があるのか…。誰がメリットがあるのか？
- ・図書館の建替えと拠点施設への位置付けが不明確であった 立地の議論が整理されていない

○ その他

- ・新図書館のあり方検討会で出た、立地の決定理由について、経緯をお示しいただけるとみんな納得しやすかったのでは。計画のプロセスの現段階がどこなのか、市長が変わってそれがどう変わったのか、聞いたかったです。
- ・複合拠点施設内（市役所東として）に図書館を入れても、図書館は使い勝手が悪い。別のものを入れることを考えて、活性をはかってほしい。現図書館は西の公園も含めて、課題点をしっかり整備すべき！
- ・市住民の思いを汲みあげてない。市民の声を聴いたうえで、構想を策定すべき。（今回のシンポジウムで初めて知らされた感あり、知らされていない住民へのフォローはどうするのか？）
- ・中心市街地の基本的な考え方はわかった

- しかし「図書館」の設置には独自の問題がある。
- その考え方も示す必要があるのではないか
- ・1回で今までの経過、計画の説明をし意見を求めるのは一般市民には無理です。2回3回と継続してこのような会を開催する必要がある、そのプロセスをふまないと市民にとってよいものではないと思う。
- ・市の財政面でこの資金がどこから出するのか
拠点とすべき図書館を立てるのに費用がどのくらいかかるのか聞きたい。税金が高い四日市であるのに！
- ・ほんとに敷地面積がこんなに使えるのか？
自動車文庫の駐車場が取れるのか？
どんな図書館にしたいかを中心に考えてほしい。
- ・スライド事例は他県の指定管理の施設ばかりだった。県内の他の市町はどうなっておるのか知りたかった。はじめに民間委託（指定管理）ありきではいけないとおもう。
- ・基本計画としては不十分で、住民の理解が得られていない
計画を進めるにあたり集知活動をもっときめ細かく行うべき。
- ・新図書館の市民の使い「ごこち」として、市側のアピールを傾聴できる機会をこの先持って頂けますように願います。
- ・市役所の東の場合は理解できました。が、課題も多いですし、その他の場所も検討して議論をしませんか（2班の皆さん、ご協力ありがとうございます！）
- ・図書館の運営について、民間がするのか否か。民営化した場合お互いどんなメリット、デメリットがあるのか？
- ・良い点ばかりが（希望的な）強調されていて現実味が薄い様に思われた
- ・四日市の方針が大変わかりました。
- ・駐車場の件
- ・この設備を作ることはもう決定されていることなのでしょうか。
- ・説明の内容は理解できたがあまりそんな感じ
- ・計画地は不便です。図書館は市民が行きやすい地域につくって下さい。近鉄より西側がよい。
- ・岡崎の三矢さん良かったです。

【感想・意見（自由記載）】

○ 時間が足りなかった

- ・講演時間が短かすぎる、もっとじっくり聞いてみたかった
- ・2回くらいにわけて行っても良かったかな？
- ・時間を区切られ、討論会にはならなかった
参加した方の意見を聞いて、皆さん中心市街地活性化の内容を知らない
- ・現実的な図書館の希望と構想について話し合う時間がなかった。
また、立地の流れについても、説明してほしい。
- ・意見の書き出しが、たった5分しかないのは、全く不足。多くの思いを持って参加された人が、自分の意見を書ききれない。一人2分の発言時間も、全く不足。
- ・講演中に質疑・応答の時間がなかったので作ってほしい。
討論で市の考え方が理解できたので良かった。
自分のわからない所を質問できて良かった。
若い世代の参加が少ないように感じた。

○ 周知・広報が不足

- ・最初から最後まで聞くと「初めに結論ありき（中心地につくる）」といった感じだった。これだけの人数でもたくさん意見・質問出たのだから、市HPでも、ほんじつのやりとりもしっかりのせて、なおかつパブリックコメントなどで、もっと広く意見を募るべきだとも思います。
- ・4地域で説明会してもガスぬきだけで終わらぬようにおねがいしたい。
- ・図書館利用者の利用する理由は様々。それらのニーズにあわせたものにして欲しい。
この件について「これまであまり知らなかった」「初めて聞いた」という声が多い。市は広報に更に努力してください
今日の議事録を早く公開して下さい
この件については、広報紙の中に小さく書くのではなく、図書館特別版の形で出してほしい
- ・行政と議会の合意で計画が進行していたようだが、市公報等では充分知らされていなかったが、このシンポで

- 意見を集めることに賛意する。
- ・今まで市民の知らないところで計画されて実行されていることばかりだった
市の行動に対して（ドーム、地下駐車場など）広く市民に公開し、意見を聴く場を設けていただいて、市長に感謝している。が、すべてのシンポジウムに市長も市議会議員の委員も参加してもらいたいし、今回の意見をまとめてホームページにのせて回答がほしい
市議会の担当者や市長が参加しなくては意味がない
- ・ぜひこのシンポジウムに話しあいの結果を（賛否両論含めて）広報などの紙面にのせてほしい
この問題をしらない市民は多いので
シンポジウムを言い訳につかってほしくない
なぜ副市長なのかわからない。策定委員会に副市長がはいるのはおかしい！ 次のステップ？ おかしい！

○ 当日の意見交換の手法に工夫が必要

- ・グループの中で更に少人数化して討論した後、全体的に話し合うという方が意見が多く出てくるのではないかと感じた。
- ・会場の設備、机が欲しい。ペットボトルのお茶くらい出すべきでは。
討論会の進め方がうまくない。準備不足の感も。
とにかく市民の為にいい施設をつくってもらいたい。
- ・討論という形式上仕方ないと思うが、あまりにも事前の前提（基調講演）の内容をふまえない発言が多く、論点がずれているなあと感じたので、今後このような機会がある場合は、進行を変えてもらえると良いと思う。
- ・活発な意見交換であったが、ファシリテーターの仕切りがよくなく、発言者にかたよりがあり、最後はとりとめのないことになった。
- ・提案者に本の専門家を入れてください。図書についての話がなかった。今の図書館の方の話を聞きたい。
- ・それぞれの方々が主張し合うのではなく、もう少し協調性をもって話し合えないのかなと思いました。
学生の立場から、全然意見だせなかったもので、年齢をわけてやってほしかった。もう少し少人数で言うようにした方がいい。2分以内というルールを無視している人が多すぎる。
- ・若者との共存のようなことはたくさんでていたがあまり現実を把握されていないな、と思った。中高生は思われているより忙しく、多分“市の施設”への興味は低いと思う。本気で考えているなら学校アンケート、もしくは高校生の集まりをある程度反映していただくことを保証していただいて行うべきだと思う。

○ 説明や資料の内容が不足だった

- ・私の方のグループでは不安が期待より意見が多かったのもう少し市民に理解できるような説明、資料を作ってもらいたいと思いました。
- ・開催した意義は、多いにあると思う。最初の基調講演より、現在の策定委員会への経過など施設整備の基本的な考え方の説明をもっと丁寧にしてほしかった。その説明が少なかったのでグループ討議で市の考え方がわからないという参加者がいて、一般市民に討議するには、知識、資料が足りないと感じた。回数を重ねることが大切だと思う。
- ・全体の構成（基本方針）と、講演・スライドと、討議が微妙にズレていた様に思う。論点は整理頂きたかったです。
「交流」のイメージができていない
将来のまちづくり（駐車場の使われ方、商店街、人工等）のイメージが見えない

○ 意見交換前の準備手法に工夫が必要

- ・ふせんの裏側に名前を書いてもらえばよかったのでは？
申し込みの時に、メールでしたが、申し込みに対する返信がなかったので、受理されているか不安だった。
不安、期待を話しても、誰も回答してもらえないのは討議しがいがない。
せめて、これまでの経緯について、説明ができる人を1人おいていただきたかった（グループ討議）
今日の討議をきちんと反映して、新図書館計画を立てて下さい。
- ・事前にアンケート等をとって、意見をきっちり…期待・不安…etc

○ 今後の意見の活かし方が疑問

- ・今日の出された意見をどのように生かしていくのか疑問です。
“やりました、聞きました”というパフォーマンスだけ、ガスぬきって感じ。

○ 庁舎東側への建設についてはよく考えるべき

- ・立地条件についての意見が多くあった、市民のニーズにあった施設を造るのは難しいようです。駐車場確保の問題…限りがない
- ・中心街の復活も問題ですが市役所東に決定されたようでその話し合いが不十分だと思います
- ・庁舎東に新図書館として建設する事を前提に進める事のないよう留意する必要があると思う。
- ・現計画地への建設反対意見が多い事に驚いた。立地をもう一度見直すべき。
- ・現在の予定地に対する市民へのコンセンサスがまだ充分に得られていないのに行政側で一方向的に計画を進めたところに問題がある。

○ 庁舎東側に決めた理由を知りたい

- ・議論を深める、というところまでいかないと思う
「中心市街地」活性化と、新図書館問題が分けて考えられるべきだと思う
市民に周知されていないことも問題
たくさん疑問があったが①なぜ、この場所なのかについてももう少し具体的に教えてほしい。駅西は文化ゾーンにする、と「博物館」設置の時にきいた、今はちがうのか。市役所のたてかえは予定がないのか？ すべて含めての市の考えを教えてください。
- ・何故、当該地で計画するのか？
今までの検討経緯、結果等々を先ず説明して欲しかった。
そのため、グループ討議では、この点ばかりで発展的な話し合いができなく、非常に残念であった。
ファシリテーターの能力不足に不満

○ 庁舎東側への建設は反対

- ・市民の意見をとりいれて、どう反映させるのか、具体的なルールが確定していません。「これは、ガスぬきや」という声に参加者の中から出ました。市庁舎東のあの場所に図書館は不適切です。(駐車場、立地面積、交通アクセスなど) 市からはっきりと返事をいただきたい。
- ・図書館のシンポならハード面からだけでなくソフト面からの講師の話聞きたかった
やっぱり参加された市民の方多くが今の場所の案に対して反対の声が上がり、私たちの血税がムダに使われていると強く思った
もっと何につけビジョンをもって計画してほしい
教育委員会の姿がここにみえないのが不思議？！
現図書館の場所中心市街地の道路へだてただけの所 現在の場所でのよいのでは？

○ 庁舎東側が良い

- ・びっくりした市はこんなにも多く真剣に考えている人がいるのか、ということで
インスパイアされました
※立地に関しては庁舎東側が絶対いいです(反対意見ばかりうるさく、むかついた、言いたい放題)

○ 図書館と複合拠点施設とは別々に考えてほしい

- ・図書館と複合施設は別々にかんがえてほしい
- ・図書館という静かな場所を確保すべき施設と、目的の異なる複合施設の計画が街づくりの問題と混ざっている
ので場所の問題、防災の問題など、納得がいきかぬ点が多いと思う。
中心部を活性化させる計画をされることは良いことだと思うので、何らかの複合設備を作るのは悪いことではないが、今の図書館は熟成された良いものだと思うので、図書館とは別に作ってほしいと思う。
私が議論した部屋の議論の内容と、最終的に皆が集合して部屋の担当の方がまとめとして話された内容とが少し違うなと思いました。不安な意見も多かったのに、あまり話されなかったのではないかな。
- ・予算をつけて検討している策定委員会の結果ありきは絶対ダメ！
図書館は今のところを直すことも考えてほしい
複合施設は図書館と切はなして！
施設ができて「地元の店の活用を」の意見に賛同です
今日がスタートなら結論を早く出さず図書館そのものを中心に考えよく議論して下さい
- ・図書館と市街地活性化は別に考えるべきだと思います。空地を残しておくべき。

- ・複合ビルの中に図書館を入れても、使い勝手がよくないです。複合ビルの中身を図書館以外で考えてください。
例) 外国人用のコンビニ、免税店、飲食、抹茶、近隣住民用の図書館(=四日市図書館とは別の小さな。)、緊急津波避難所
図書館自体は目的ありきで行くもの。費用もかかるものであるが、文化として、利用者にとって、必要なことは整備されなければならない。大改修して(西の公園も含めて)1Fフロアを広げ、駐車場を増やし、カフェをつくること。エアコンもよくきくように。現時点では民営は危険。様子見を。
駅から歩けるとてもいい場所に現四日市図書館があるので、この場所は大切にすべき。大改築(=約20年後)までは、現在の図書館をしっかり改修したら、全く問題ない。費用面でも合理的だと思う。
まとめ者は持論の展開だけで市民の声を正確にひろっていない。
まとめ者のまとめ方が、複合施設内図書館ありきの言い方にひきよせてしまう傾向があり、市民の意見に添っていない所もあった。

○ 図書館を含む複合拠点施設として考えるのは難しいと思う

- ・にぎわう施設と静かな図書館、防災施設すべての機能を持つ施設は建築計画上難しいと思う、既存のストックも上手につかうことは出来ないだろうか、スクラップ&ビルドは時代に逆らっている、税金を無駄にしてほしくない
新しい施設を造ることだけが活性化の方法ではない
- ・複合施設に期待している人、新図書館への期待と不安を持つ人、さまざまだなあと感じました。私は図書館がどうなるか心配で参加しました。市街地活性化のために図書館が利用されているような気がしてあまりいい気はしませんでした。
グループ討議の意見だけでなく、申し込みメールでも意見を書きました。そちらも意見として残していただきますように。
- ・古くなった図書館を新しくといわれながら議論される場がなく、急に市街化複合とだきあわせる為に出てきて、しかも、防災に対して不安のある狭い所で私たちの期待するものができるのか？
市民の声に耳を傾け、情報をしっかり出していくことを望みます。各商店街で努力してもらっていることにみえる化し、支援の柱をつくっていく行政でなく、行政としてからみあって各視点から物をみていくように

○ 図書館を含む複合拠点施設が市街地の活性化につながるとは思えない

- ・市役所の東側に場所決定を前おきに行われている。図書館を建てて地域の商い活性化になるとは思えない。シャッター街活性化にはまず楠 Park の料金を下げるか、商店に割引券を気楽に出せるようにしてやって下さい。私は毎月松岡のうなぎ屋へ行っていたが友人が増え4人で行くようになって車を使って行きました。割引券を2枚もらうのに屈辱的に頭を下げる。これがいやになって行かなくなった。

○ その他

- ・まだ決まっていることが少なすぎて情報が少なすぎていまいちどんな図書館にしたいのかというものがわからなかった
- ・市長にも参加いただきましたかった。
いろいろな意見があることがよくわかった。
図書館に対する想いも、中心市街地活性化の想いも、それぞれ強く、簡単には同じベクトルにはならないんだとよくわかりました。
あり方検討会の前に、このシンポジウムができるのと良かったですね。
- ・立地についてここまで不安を持っている人が多いとは思っていなかった。市役所周辺は「こんなところ」と言われてしまうほど地位が下がってしまったのだと思う。立地についてはとうとう感が強いのだと思う。
今回の議論手法として「ポストイットにキーワードを書いてそれを張りつけて議論のきっかけを作りたい」旨をもっと説明すべきだったのでは？
欲しい機能としてはイベント広場のような、目的がなくても人が集まれるような場所を確保してほしい。また京都駅の大階段や阪急百貨店の「祝祭広場」のような場所をつくってほしい。
今の四日市は公共交通は信頼を失っているの、信頼を取り戻す対策を進めるべきだと思う。
市街地活性化の議論を先に進めるべきではないかと思う。そうしないと立地場所の動機づけが固まらないのではないかな。活性化したいのはどこか。活性化するにはどんな施設が必要か。その施設をどこに作るか…こんなアプローチをとってみては？ この議論のなかで近鉄~JR間を活性化したいという強い意志を見せたほうがいいのでは？
- ・学生から年配の方まで幅広い世代を通して、様々な意見の情報共有ができたと思います。
私は学生なので、なかなかこのような機会に参加することがなかったので、今回、新図書館についての討論が

できたのは、よい経験につながりました。司会の方がうまく学生にも意見発表を求めてくださったので有難かったです。

- (当方は2班でした) が、他の班も不安が多く出たようですし、時間もかかりますが、しっかり議論しませんか。こうした時間をつくっていただき、ありがとうございます。
- 出席者中の言葉「ガス抜きや」で、ガッカリ。
シンポジウムに行こうよと誘った人から「市民の意見を聞きました」というポーズ作りだから行かないという言葉も聞いた。
- 一般市民はどこまで理解しているのだろうか？ 新図書館、複合施設について。
幼児の時から本に親しむ為には、親の手足が必要 ・. 駐車場確保が必要
図書館での勉強は、勉強のみの人の為に時間延長する必要があるのか？ 家庭でするのが基本だと思う。調べものをするなら別だが。
- 新図書館の恩恵が、現代日本の報道・メディアの劣悪さを超えて、タブーを恐れない市民の育成につながることを願っています。
- 計画を力づくよく推進して頂きたいと思います。
- 現在の市役所の駐車場はとても使いにくく、図書館に行くためにあの駐車場を使うのは行くのをためらう。本当につえを使って歩いている人や、ベビーカー、車いすの人に使いやすい駐車場は用意できないのでしょうか。
- 初めてこういうシンポジウムに参加して、他の人の意見を聞いて良かった。
- グループ討論会で色々な方向からの意見があり全ての人がこの新図書館に賛成しているわけではないと感じた。
- 図書館が新しくなることには賛成です。何事も、変えようとするとき反対意見もあると思います。いくつか質問します。今日の会は、市民に納得してもらったのか、意見を取り入れる場だったのか、気になりました。庁舎東に作ることは前提なのであれば、それを納得させるような情報、理由が聞きたいです。今日の参加者は、図書館が好きな人ばかりで、興味があり、役所の考えを聞きたい人も多かったのではないのでしょうか。賛成の人、興味がない人はそもそも参加しないと思います。きっと、子どもの城から現図書館へ移転する時も、反対意見はあったはず。その中で移転し、今多くの人に利用されています。何事も反対意見はあると思いますが、その意見をはねのける？ 納得させるような説明をいただきたいです。また、今日の意見だけでなく、今の図書館利用者に話を聞いたり、街頭の人に聞いたり、様々な意見をきくと良いと思いました。今日参加して、いろんな市民の方がいるんだな、と感じました。厳しい意見を言う方もいると思いますが、頑張ってください！！ 休日の出勤、お疲れ様でした。あと1ヶ月ほどがんばってください！
- いろんな人が居る事を知った（進行の難しさ）
鶴の森は緑（自然）をこわすことになる
- 発展や活性に繋がっていいですね。
- 同じ住民の意見等が聴けたことが良かった。自分の考え方に巾ができた。
- はやくつくってほしい。